

平成26年度

事業年報

公益財団法人 岡山県健康づくり財団

はじめに

当財団は平成3年8月に設立されて以来、県民皆様の疾病予防や健康づくりを支援するとともに県や市町村の保健衛生、環境施策を補完する事業により地域に貢献することを目指して、健康診断事業をはじめ、各種環境検査事業、病院事業、健康づくり支援事業等に取り組んでまいりました。

この冊子は、当財団の平成26年度における事業内容の記録として作成したものであります。

ご高覧のうえご指導を賜りますとともに業務の参考としていただければ幸甚に存じます。

今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 石川 紘

目 次

I	事業内容	1
II	役員名簿	2
III	組織	3
1	組織図	3
2	職種別、組織別職員数	4
IV	事業報告	
1	保健部	5
(1)	住民健診	5
1.	特定健診・後期高齢者健診	5
2.	肝炎ウイルス検査	7
(2)	保健指導	8
(3)	一般健康診断	9
(4)	特殊健康診断	10
(5)	胸部X線検診（結核検診・肺がん検診）	11
(6)	胃がん検診	15
(7)	子宮がん検診	18
(8)	乳がん検診	21
(9)	大腸がん検診	24
(10)	前立腺がん検診	27
(11)	骨粗鬆症検診	29
(12)	学校保健検査	30
1.	尿検査	30
2.	寄生虫検査	32
3.	貧血検査	34
4.	心臓検診	35
5.	小児生活習慣病予防健診	36
(13)	先天性代謝異常等検査	38
2	環境部	40
(1)	飲料水検査	40
(2)	簡易専用水道検査	42

(3) 浄化槽法定検査	4 4
(4) 岡山県浄化槽水質管理実施要綱に基づく検査	4 6
(5) 産業排水検査	4 8
(6) 河川水検査	5 0
(7) 食品検査	5 2
(8) 腸内細菌検査等	5 4
(9) その他の検査	5 5
(10) 精度管理	5 7
3 食鳥検査事業	5 9
4 附属病院	6 2
(1) 外来状況	6 2
(2) 入院状況	6 3
(3) リハビリテーション	6 4
(4) 先進の医療機器による検査	6 4
(5) 安全・安心な患者満足度の高い医療の提供	6 4
(6) 地域連携の推進	6 5
(7) 結核医療連携拠点病院の指定	6 5
(8) 指導・相談	6 5
(9) 財団各部門との連携	6 6
(10) 難病相談・支援事業	6 6
5 南部健康づくりセンター	6 8
(1) 健康増進部門	6 8
1. ヘルスチェックの状況	6 8
2. 施設自由（フリー）利用状況	7 0
3. お手軽教室	7 1
4. 健康実践講座	7 3
(2) 教育・研修部門	7 8
1. 派遣事業	7 8
2. 図書資料室	8 0
3. 大会議室・小会議室・栄養指導室・多目的聴講室	8 0
4. 研究室の開放	8 0
(3) 調査・研究部門	8 1
1. 業績	8 1

(4) スポーツ医科学部門	8 1
1. 受診者数およびその内訳	8 1
(5) 健康診断（人間ドック）部門	8 2
1. 人間ドック	8 2
2. 脳ドック	8 6
3. らせんC T胸部検診	8 6
6 普及啓発事業	8 7
(1) 財団の広報	8 7
(2) 結核予防に関する事業	8 7
(3) がん予防に関する事業	8 8
(4) 禁煙の普及啓発に関する事業（岡山県禁煙問題協議会）	8 9
(5) 「健康おかやま21」への参加	8 9
(6) 助成事業	9 0
(7) 会議等の開催	9 1

I 事業内容

- (1) 健康づくり及び結核、がん、循環器疾患等の予防に関する知識の普及啓発及び調査研究
- (2) 健康づくりの実践活動に対する指導及び援助
- (3) 結核、がん、生活習慣病等の健康診査
- (4) 保健及び医療に関する情報の収集及び提供
- (5) 保健医療従事者及び健康づくり指導者の養成及び研修
- (6) 結核及び呼吸器疾患を中心とする医療
- (7) 保健及び医療に関する臨床検査
- (8) 食品衛生に関する試験検査
- (9) 浄化槽法定検査事業
- (10) 飲料水水質の試験検査
- (11) 簡易専用水道検査事業
- (12) 環境計量証明事業
- (13) その他生活環境の保全に関する試験検査
- (14) 食鳥検査事業
- (15) その他財団の目的を達成するために必要な事業

II 役員名簿

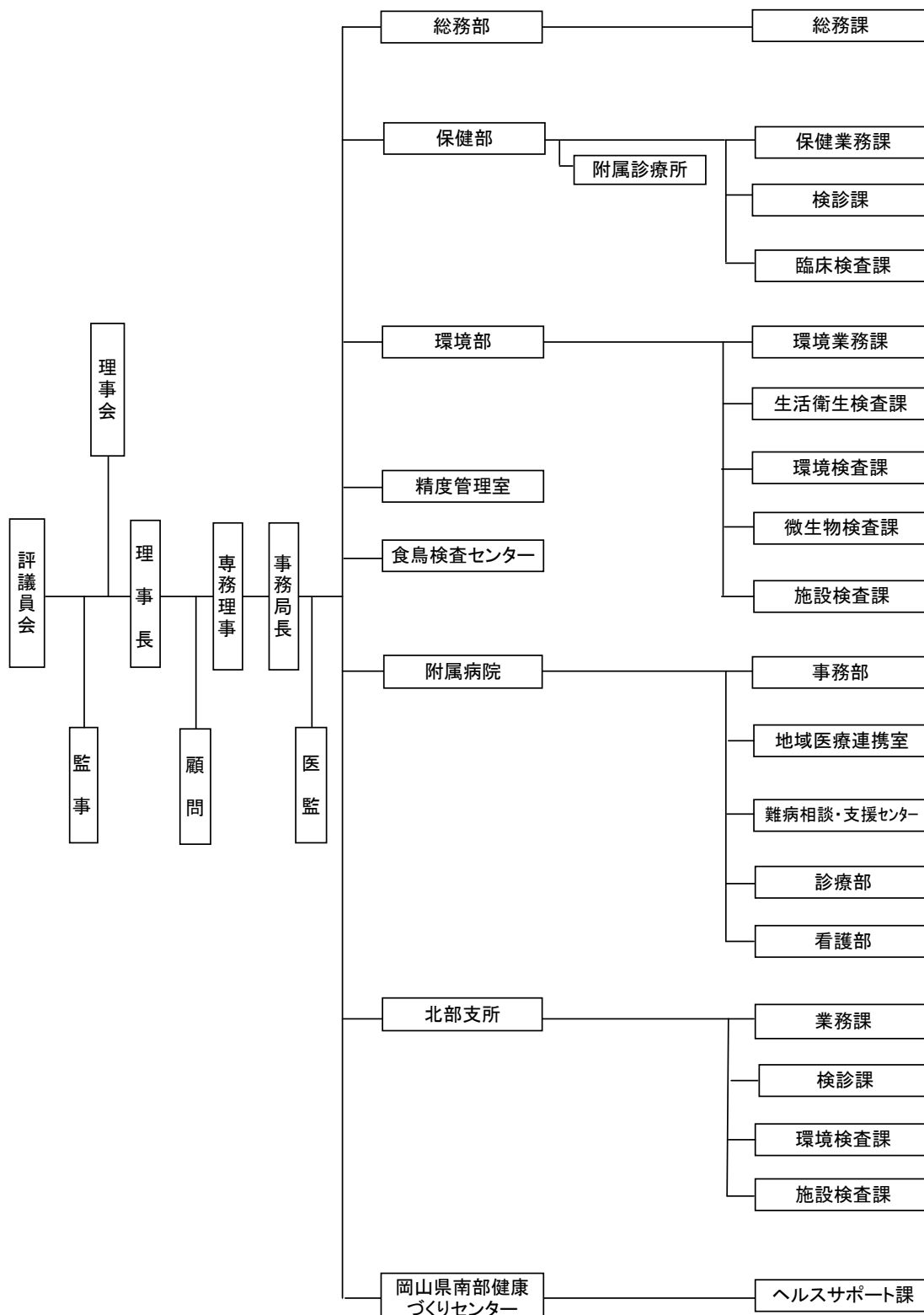
平成26年4月1日現在

役職名	氏名	備考
評議員	伯野春彦	岡山県保健福祉部長
〃	清水信義	岡山県医師会副会長
〃	小出尚志	岡山県病院協会会長
〃	内田耕三郎	岡山市医師会長
〃	松尾直光	津山市医師会長
〃	吉野正	岡山大学医学部長
〃	内山登	岡山県議会議員
〃	福永仁夫	川崎医科大学長
〃	酒井昭則	岡山県歯科医師会長
〃	赤澤昌樹	岡山県薬剤師会長
〃	黒田晋	岡山県市長会長
〃	河島建一	岡山県町村会長
〃	藤本貴子	岡山県愛育委員連合会長
〃	杉本睦子	元岡山県栄養改善協議会長
理事長 (代表理事)	石川紘	岡山県医師会長
専務理事 (業務執行理事)	大森弘介	岡山県健康づくり財団専務理事
理事	阪本文雄	山陽新聞社会事業団専務理事
〃	岡崎邦泰	日本乳がん検診学会名誉会員
〃	森恵子	岡山県栄養士会長
〃	石本傳江	岡山県看護協会会長
〃	守谷欣明	岡山県禁煙問題協議会長
〃	中島順	岡山県健康づくり財団環境部長
〃	西井研治	医監 (兼)岡山県健康づくり財団附属病院長
〃	沼田健之	岡山県健康づくり財団保健部長 (兼)岡山県南部健康づくりセンター長
監事	有本耕平	弁護士
〃	小川洋一	公認会計士・税理士

III 組織

1 組織図

平成26年4月1日現在



2 職種別・組織別職員数

平成26年4月1日現在

	事務職	医師	保健師・ 看護師・ 准看護師	放射線 技師	臨床 検査技師	理学 療法士	環境 検査技師	薬剤師	栄養士・ 調理員	介護職	運動 指導員等	食鳥 検査員	合 計
総務部	13												13
保健部	31	6	25	11	23	2							98
環境部	14				1		43						58
食鳥検査 センター	2						1					13	16
附属病院	13	5	45	1		2		2	12	15			95
北部支所	10		2	2	1		17						32
南部健康 づくりセ ンター	9	4	6	5	3				2		5		34
合 計	92	15	78	19	28	4	61	2	14	15	5	13	346

IV 事業報告

1 保健部

(1) 住民健診

1. 特定健診・後期高齢者健診

1) 健診概要

目的：生活習慣病の予防

対象：特定健診：医療保険加入者で、実施年度中に40～75歳になる者
後期高齢者健診：76歳以上の者

補足)・対象年齢の誕生日以前等での振り分けは各市町によって異なる。

・医療保険加入者：国保加入者及び、被用者保険の被扶養者を対象として集計している。

2) 実施状況

13市町から委託を受け、18,900人の健診を実施し、前年度に比べ1,175人(6.63%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
特定健診	国保	13,666	12,989	12,672	12,149	12,120
	他健保	732	855	911	1,447	1,394
	その他	490	284	212	334	1,575
後期高齢者健診		3,759	3,966	3,963	3,795	3,811
計		18,647	18,094	17,758	17,725	18,900

② メタボリックシンドローム判定内訳 (国保、他健保)

(人)

区分	性別	受診者数	メタボリックシンドローム判定結果内訳					
			該当		予備群		非該当	
国保	男性	4,983	1,064	21.4 %	771	15.5 %	3,148	63.2 %
	女性	6,730	432	6.4 %	389	5.8 %	5,909	87.8 %
他健保	男性	100	27	27.0 %	24	24.0 %	49	49.0 %
	女性	1,294	58	4.5 %	61	4.7 %	1,175	90.8 %
合計	男性	5,083	1,091	21.5 %	795	15.6 %	3,197	62.9 %
	女性	8,024	490	6.1 %	450	5.6 %	7,084	88.3 %
	計	13,107	1,581	12.1 %	1,245	9.5 %	10,281	78.4 %

3) 健診方法

① 健診項目

・基本的な健診の項目

問診

身体計測 (身長、体重、腹囲、BMI。後期高齢者健診は腹囲なし)

理学的所見 (身体診察)

血圧 (収縮期血圧、拡張期血圧)

血中脂質検査 (中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール)

肝機能検査 (AST、ALT、 γ -GT)

血糖検査 (空腹時血糖、ヘモグロビンA1c。いずれかの項目の実施で可)

尿検査 (尿糖、尿蛋白)

・詳細な健診の項目 (医師の判断による追加項目)

貧血検査 (赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値)

心電図検査

眼底検査

② メタボリックシンドロームの判定基準

・必須条件

腹囲： 男性 85 cm以上、女性 90 cm以上

・以下のうち2つ以上が該当

血糖： 空腹時血糖 110 mg/dl 以上、随時の場合は HbA1c 6.0%以上

脂質： 中性脂肪 150 mg/dl 以上、または HDL-コレステロール 40 mg/dl 未満

血圧： 収縮期 130 mmHg 以上、または 拡張期 85 mmHg 以上

※ 脂質・血圧は、いずれかまたは両方

2. 肝炎ウイルス検査

1) 検査概要

目的： B型・C型肝炎から肝硬変・肝がん等に悪化するのを予防するため
(B型・C型肝炎の早期発見、早期治療)

対象： 当年度40歳になる者(節目検診)又は過去に受診したことがない者

2) 実施状況

12市町から委託を受け実施した。

B型肝炎検査は、2,346人の健診を実施し、前年度に比べ156人(7.12%)の増加であった。

C型肝炎検査は、2,346人の健診を実施し、前年度に比べ154人(7.03%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
肝炎ウイルス検査	B型肝炎検査	738	1,498	2,418	2,190	2,346
	C型肝炎検査	737	1,494	2,419	2,192	2,346

② 陽性率

B型肝炎検査： 陽性者数は6人で、陽性率は0.26%であった。

C型肝炎検査： 感染者数は5人で、感染率は0.21%であった。

3) 検査方法

B型肝炎検査： HBs抗原検査(定性)

C型肝炎検査： 問診、HCV抗体検査(CLEIA法)、HCVコア蛋白測定によるHCV抗原検査、HCV-RNA定量検査

(2) 保健指導

1) 指導概要

目的： 対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを継続的に行うことができるよう支援する

対象： 健康診断の結果、健康の保持に努める必要がある者
ただし、特定保健指導については医療保険者により、動機づけ支援または積極的支援に階層化された者

2) 実施状況

地域では296人の保健指導を実施し、前年度に比べ36人（13.85%）の増加であった。

職域では1,117人の保健指導を実施し、前年度に比べ143人（11.35%）の減少であった。

全体では前年度に比べ107人（7.04%）の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
地域	148	142	134	260	296
職域	1,147	1,024	1,057	1,260	1,117
計	1,295	1,166	1,191	1,520	1,413

② 年齢階層別実施状況

(人)

積極的支援		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
地域	男性	5	7	12	0	24
	女性	3	2	9	0	14
職域	男性	355	254	30	0	639
	女性	19	17	0	0	36
計		382	280	51	0	713

動機付け支援		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
地域	男性	7	6	80	46	139
	女性	4	8	69	38	119
職域	男性	213	111	13	1	338
	女性	47	53	3	1	104
計		271	178	165	86	700

その他保健指導		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
職域	男性	54	0	1	0	55
	女性	46	11	9	4	70
計		100	11	10	4	125

3) 指導方法

期間： 6ヵ月間

支援： 面接 … 個別または8人以下のグループ
通信 … 手紙、メール、電話

4) メタボリックシンドローム予防セミナー 受講者 207人

(3) 一般健康診断

1) 健診概要

目的： 事業所就業者の健康管理と疾病の早期発見

対象： 事業所就業者

2) 実施状況

64,095 人の健診を実施し、前年度に比べ 2,296 人 (3.46%) の減少であった。

① 受診者数の年次推移

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
実施人員	36,975	41,190	55,734	66,391	64,095

(人)

3) 健診方法

① 健診項目

労働安全衛生法で定める検査項目を基本としている。

② 健診区分

区分	時期	項目	備考
雇入れ時	雇入れ時	① 既往、業務歴の調査 ② 自覚症状	労働者の採用時に実施
一般	1年以内に1回	③ 身長、体重、BMI 腹囲、視力、聴力 ④ 胸部X線、喀痰 ⑤ 血圧、尿糖、尿蛋白 ⑥ 貧血検査 ⑦ 肝機能検査 ⑧ 血中脂質検査 ⑨ 血糖検査 ⑩ 心電図検査	④を除き特定業務従事者等は 6ヶ月以内に1回

(4) 特殊健康診断

1) 健診概要

目的： 特定の有害業務に従事する就業者を対象とした健康管理

対象： 有害業務従事者

2) 実施状況

6,985人の健診を実施し、前年度に比べ511人(6.82%)の減少であった。

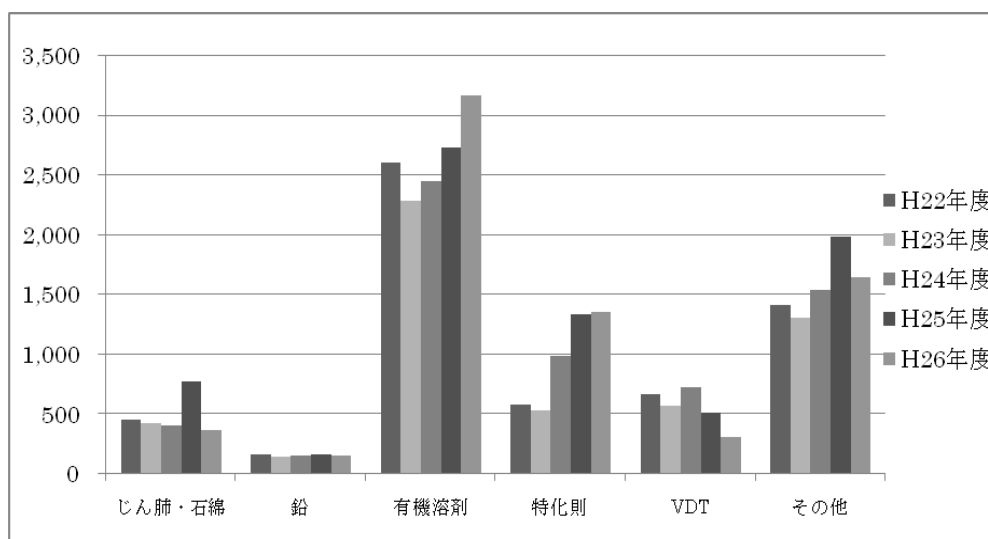
① 項目別実施状況

じん肺・石綿健診は372人、鉛健診は151人、有機溶剤健診は3,159人
特定化学物質健診は1,353人、VDT健診は309人、その他健診は1,641人であった。

② 項目別受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
じん肺・石綿	458	428	404	772	372
鉛	160	146	157	161	151
有機溶剤	2,604	2,283	2,444	2,729	3,159
特化則	576	536	990	1,336	1,353
VDT	664	572	723	515	309
その他	1,409	1,310	1,541	1,983	1,641
計	5,871	5,275	6,259	7,496	6,985



3) 健診方法

労働安全衛生法及びじん肺法で定める検査項目を基本としている。

(5) 胸部X線検診（結核検診・肺がん検診）

1) 検診概要

目的：「結核」の早期発見、まん延防止及び「肺がん」の早期発見、死亡率低下
対象：「結核」は65歳以上の住民、労働安全衛生法による定期健診対象者及び
感染症法による対象者、「肺がん」は40歳以上の住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では69,512人の検診を実施し、前年度に比べ4,190人（5.69%）の減少であった。

職域では38,459人の検診を実施し、前年度に比べ4,607人（10.70%）の減少であった。

各種学校では23,205人の検診を実施し、前年度に比べ588人（1.45%）の減少であった。

全体では前年度に比べ9,385人（6.68%）の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
地域	87,078	82,596	76,419	73,702	69,512
職域	44,962	41,220	44,175	43,066	38,459
各種学校	16,973	20,882	23,453	23,793	23,205
計	149,013	144,698	144,047	140,561	131,176

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率（各種学校の読影のみ除く）

要精検者数は1,690人で、要精検率は1.29%であった。

④ 精検受診率（各種学校除く）

精検受診者数は644人で、精検受診率は38.11%であった。

⑤ がん発見率（各種学校除く）

発見された人数は24人で、発見率は0.02%であった。

内訳は男性16人、女性8人であった。

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
がん発見者数	33	37	48	10	24
がん発見率	0.02%	0.03%	0.04%	0.01%	0.02%

3) 検診方法

① 検診項目

結核検診 : 胸部X線間接撮影 (100mm)

肺がん検診 : 問診、胸部X線写真読影 (100mm)、喀痰細胞診 (問診で喫煙指数600以上の者または6ヶ月以内に血痰のあった者、いずれかに該当する者)

② 判定方法

胸部疾患専門医師2名による二重読影を行う。
肺がん検診では読影結果に基づき比較読影を実施する。

③ 判定区分

異常なし : 所見なし (有所見を含む)
経過観察 : 精密検査は不要だが経過を観察する
要精検 : 病変の発見及びその疑いがある

別表1 胸部X線検診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					肺がん	肺がん疑い	悪性腫瘍	肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治療	他呼吸器	循環器	その他	異常なし
男	～19			0										
	20～24			0										
	25～29	1		0										
	30～34	1		0										
	35～39	2		0										
	40～44	444	3	1									1	
	45～49	418	3	2									2	
	50～54	463	4	4									2	2
	55～59	711	10	5									2	3
	60～64	1,988	37	33									22	10
	65～69	5,101	113	90	5	6				1	8		52	18
	70～74	6,029	136	112	3	7			1	1	13		67	20
	75～79	4,790	136	109	3	6				6	11		69	14
	80～	4,809	169	120	5	10			1	2	9		73	20
計	24,757	611	476	16	30	0	1	1	10	41	0	290	87	
女	～19			0										
	20～24	2		0										
	25～29	14		0										
	30～34	19		0										
	35～39	24		0										
	40～44	1,250	7	4									3	1
	45～49	1,374	9	7									6	1
	50～54	1,896	13	14									9	5
	55～59	2,704	30	23		1				1	1		11	9
	60～64	5,616	68	66	1	1							49	15
	65～69	9,950	141	116	2	3				1	2		69	39
	70～74	9,374	153	138	2	6				3	4		82	41
	75～79	6,618	158	131	2	1				2	6		82	38
	80～	5,914	158	111	1	5				2	2		73	30
計	44,755	737	610	8	17	0	0	0	9	13	0	384	179	
合計	69,512	1,348	1,086	24	47	0	1	1	19	54	0	674	266	

別表2 胸部X線検診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳									
					肺がん	肺がん疑い	悪性腫瘍	肺結核要医療	肺結核要観察	肺結核治療	他呼吸器	循環器	その他	異常なし
男	～19	156	1	0										
	20～24	1,585	6	1										1
	25～29	3,383	7	0										
	30～34	3,574	7	1										1
	35～39	2,347	4	0										
	40～44	2,291	16	4							2			2
	45～49	1,898	18	8							4	1	1	2
	50～54	1,408	13	4							4			
	55～59	1,344	16	2							2			
	60～64	1,181	13	2							1			
	65～69	682	25	3							2	1		
	70～74	265	7	2							1			1
	75～79	121	9	5							5			
	80～	229	24	12		1					9	1		2
不明	768	28	0											
計	21,232	194	44	0	1	0	0	0	0	30	3	1	9	
女	～19	54	0	0										
	20～24	1,689	0	0										
	25～29	2,910	3	0										
	30～34	2,212	9	0										
	35～39	1,713	7	0										
	40～44	1,912	11	0										
	45～49	1,709	13	2							2			
	50～54	1,533	10	0										
	55～59	1,221	17	0										
	60～64	853	18	3							1		1	1
	65～69	407	7	2							2			
	70～74	155	5	2			1				1			
	75～79	151	10	6							3	1		2
	80～	692	37	19		2					9	4	1	3
不明	16	1	0											
計	17,227	148	34	0	2	1	0	0	0	18	5	2	6	
合計	38,459	342	78	0	3	1	0	0	0	48	8	3	15	

別表3 胸部X線検診年齢階層別実施状況（各種学校）

区分	受診者数	一次検査結果内訳			
		異常なし	経過観察	要精検	撮影のみ
高：1学年	9,330	9,313		17	
高：その他	361	359		2	
養護学校	252	251		1	
その他学校	14,366	13,052	1	25	1,288
計	24,309	22,975	1	45	1,288

別表4 喀痰細胞診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	一次検査結果内訳				
			再検査	異常なし	観察	悪性腫瘍細胞疑い	悪性腫瘍細胞あり
男	～39						
	40～44	31		31			
	45～49	30		30			
	50～54	34		34			
	55～59	65	1	64			
	60～64	205	1	203	1		
	65～69	427	3	418	6		
	70～74	503	4	496	3		
	75～79	381	8	370	2		1
	80～	293		288	3	2	
	不明						
計	1,969	17	1,934	15	2	1	
女	～39						
	40～44	21		21			
	45～49	6	1	5			
	50～54	20		20			
	55～59	13		13			
	60～64	42		42			
	65～69	66		66			
	70～74	81	1	79	1		
	75～79	63		63			
	80～	58		58			
	不明						
計	370	2	367	1	0	0	
合計	2,339	19	2,301	16	2	1	

別表5 喀痰細胞診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	一次検査結果内訳				
			再検査	異常なし	観察	悪性腫瘍細胞疑い	悪性腫瘍細胞あり
男	～39	33	1	32			
	40～44	26		26			
	45～49	21		21			
	50～54	34		34			
	55～59	30		30			
	60～64	17	1	16			
	65～69	9		9			
	70～74	3		3			
	75～79						
	80～						
	不明						
計	173	2	171	0	0	0	
女	～39	43		43			
	40～44	21		21			
	45～49	13	1	12			
	50～54	24	1	23			
	55～59	10	1	9			
	60～64	7	1	6			
	65～69	1		1			
	70～74						
	75～79						
	80～						
	不明						
計	119	4	115	0	0	0	
合計	292	6	286	0	0	0	

(6) 胃がん検診

1) 検診概要

目的：胃がんの早期発見

対象：原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では15,548人の検診を実施し、前年度に比べ1,056人(6.36%)の減少であった。

職域では7,050人の検診を実施し、前年度に比べ83人(1.19%)の増加であった。

全体では前年度に比べ973人(4.13%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
地域	20,247	18,712	17,488	16,604	15,548
職域	6,246	6,547	6,593	6,967	7,050
計	26,493	25,259	24,081	23,571	22,598

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は1,498人で、要精検率は6.63%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は1,118人で、精検受診率は74.63%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は14人で、発見率は0.06%であった。

内訳は男性9人、女性5人であった。

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
がん発見者数	22	26	28	28	14
がん発見率	0.08 %	0.10 %	0.12 %	0.12 %	0.06 %

3) 検診方法

① 検診項目

問診、胃部X線検査（日本消化器集団検診学会間接8枚撮影法）

② 判定方法

専門医師による二重読影（ダブルチェック）

③ 判定区分

異常なし： 所見なし（放置可を含む）

経過観察： 精密検査は不要だが経過を観察する

要 精 検： 疑わしい所見がみられるため精密検査の必要がある

(7) 子宮がん検診

1) 検診概要

目的：子宮頸がんの早期発見

対象：原則として20歳以上の女性で地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では24,658人の検診を実施し、前年度に比べ1,807人(6.83%)の減少であった。

職域では1,279人の検診を実施し、前年度に比べ63人(4.69%)の減少であった。

全体では前年度に比べ1,870人(6.72%)の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
地域	34,287	32,790	30,524	26,465	24,658
職域	542	516	691	1,342	1,279
計	34,829	33,306	31,215	27,807	25,937

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は229人で、要精検率は0.88%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は139人で、精検受診率は60.70%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は5人で、発見率は0.02%であった。

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
がん発見者数	8	7	6	12	5
がん発見率	0.02%	0.02%	0.02%	0.04%	0.02%

3) 検診方法

① 検診項目

問診（既往歴、家族歴等）、医師による視診・内診及び子宮頸部の細胞採取

② 判定方法

細胞診の判定は日本臨床細胞学会認定の細胞検査士がスクリーニングして、ASC-US 以上のものについて細胞診専門医が判定を行う。

③ 判定区分

細胞診判定	結果	推定される 病理診断	従来のクラス分類
NILM	陰性	非腫瘍性所見 炎症	I、II
ASC-US	意義不明な 異型扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い	II - IIIa
ASC-H	HSILを除外できない 異型扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い	IIIa、IIIb
LSIL	軽度扁平 上皮内病変	HPV感染 軽度異形成	IIIa
HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成	IIIa
		高度異形成	IIIb
		上皮内癌	IV
SCC	扁平上皮癌	扁平上皮癌	V
AGC	異型腺細胞	腺異型または 腺癌疑い	III
AIS	上皮内腺癌	上皮内腺癌	IV
Adenoca.	腺癌	腺癌	V
other malign.	その他の悪性腫瘍	その他の悪性腫瘍	V

別表1 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況（地域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19							
20～24	250	13	7	1		1	5
25～29	601	19	11	3		1	7
30～34	1,121	30	19	6			13
35～39	1,609	39	21	5	1		15
40～44	1,876	31	22	5	2		15
45～49	1,377	24	12	6			6
50～54	1,492	10	4	2			2
55～59	1,853	8	7	1			6
60～64	3,138	9	7	2			5
65～69	4,385	6	5	1	1	1	2
70～74	3,573	5	3	1		1	1
75～79	2,260	10	10	3	1	1	5
80～	1,123	1					
計	24,658	205	128	36	5	5	82

別表2 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況（職域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19	2						
20～24	55	1					
25～29	133	6	2	1			1
30～34	116	6	3	2			
35～39	152	5	3	2			
40～44	249	3	3				1
45～49	185	1					
50～54	194	2					
55～59	109						
60～64	61						
65～69	17						
70～74	4						
75～79	2						
80～							
計	1,279	24	11	5	0	0	2

別表3 子宮頸がん検診年齢階層別実施状況（合計）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳			
				異常なし	頸部がん	がん疑い	その他疾病
～19	2	0	0	0	0	0	0
20～24	305	14	7	1	0	1	5
25～29	734	25	13	4	0	1	8
30～34	1,237	36	22	8	0	0	13
35～39	1,761	44	24	7	1	0	15
40～44	2,125	34	25	5	2	0	16
45～49	1,562	25	12	6	0	0	6
50～54	1,686	12	4	2	0	0	2
55～59	1,962	8	7	1	0	0	6
60～64	3,199	9	7	2	0	0	5
65～69	4,402	6	5	1	1	1	2
70～74	3,577	5	3	1	0	1	1
75～79	2,262	10	10	3	1	1	5
80～	1,123	1	0	0	0	0	0
計	25,937	229	139	41	5	5	84

(8) 乳がん検診

1) 検診概要

目的：乳がんの早期発見

対象：岡山県の指針で30歳代は視触診単独検診を毎年実施、40歳以上はマンモグラフィ併用検診を毎年実施

原則、地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では17,178人の検診を実施し、前年度に比べ811人(4.96%)の増加であった。

職域では1,092人の検診を実施し、前年度に比べ93人(9.31%)の増加であった。

全体では前年度に比べ904人(5.21%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
地域	16,731	16,617	16,130	16,367	17,178
職域	878	1,028	970	999	1,092
計	17,609	17,645	17,100	17,366	18,270

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は1,035人で、要精検率は5.67%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は752人で、精検受診率は72.66%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は24人で、発見率は0.13%であった。

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
がん発見者数	17	25	13	24	24
がん発見率	0.10%	0.14%	0.08%	0.14%	0.13%

3) 検診方法

① 検診項目

- ・問診、視触診（専門医師による立位・座位・仰臥位・視触診法により行う）
- ・問診、視触診、マンモグラフィ（40歳代のみ、内外斜位一方向と頭尾方向を加えた2方向）

② 判定方法

視触診 : 専門医師による

マンモグラフィ : マンモグラフィ精度管理中央委員会の認定読影医師による二重読影

③ 判定区分

・視触診

異常なし : 今回の検診で異常は認められない者

経過観察 : 精密検査は不要だが経過を観察する

要精検 : 今回の検診で精密検査の必要があると診断された者

・マンモ併用

異常なし : 今回の検診で異常は認められない者（有所見を含む）

要精検 : 疑わしい所見が見られるので精密検査が必要と診断された者

別表1 乳がん年齢階層別実施状況（地域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	不明
～29	111	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	261	7	1	1	0	0	0	0	0	0
35～39	413	8	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44	1,528	175	139	48	2	2	52	1	24	10
45～49	1,232	118	98	26	2	1	37	17	10	5
50～54	1,317	67	46	16	1	1	14	5	7	2
55～59	1,580	97	80	36	0	1	20	4	10	9
60～64	2,508	123	96	44	4	1	26	4	11	6
65～69	3,388	174	122	57	10	2	31	7	9	6
70～74	2,588	118	79	40	3	1	12	5	10	8
75～79	1,541	57	36	17	2	1	8	2	4	2
80～	711	13	8	7	0	0	1	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17,178	958	705	292	24	10	201	45	85	48

別表2 乳がん年齢階層別実施状況（職域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	不明
～29	42	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	31	1	1	0	0	0	0	1	0	0
35～39	95	9	4	2	0	0	1	0	1	0
40～44	233	18	11	1	0	0	3	2	5	0
45～49	218	18	16	8	0	0	6	0	1	1
50～54	190	14	8	3	0	0	2	0	2	1
55～59	130	4	3	2	0	0	0	1	0	0
60～64	70	4	2	0	0	0	0	0	2	0
65～69	46	6	2	0	0	0	1	1	0	0
70～74	25	2	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,092	77	47	16	0	0	13	5	11	2

別表3 乳がん年齢階層別実施状況（合計）

年齢	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精検結果内訳						
				異常なし	乳がん	乳がん疑い	乳腺症	線維腺腫	その他	不明
～29	153	2	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	292	8	2	1	0	0	0	1	0	0
35～39	508	17	4	2	0	0	1	0	1	0
40～44	1,761	193	150	49	2	2	55	3	29	10
45～49	1,450	136	114	34	2	1	43	17	11	6
50～54	1,507	81	54	19	1	1	16	5	9	3
55～59	1,710	101	83	38	0	1	20	5	10	9
60～64	2,578	127	98	44	4	1	26	4	13	6
65～69	3,434	180	124	57	10	2	32	8	9	6
70～74	2,613	120	79	40	3	1	12	5	10	8
75～79	1,548	57	36	17	2	1	8	2	4	2
80～	716	13	8	7	0	0	1	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18,270	1,035	752	308	24	10	214	50	96	50

(9) 大腸がん検診

1) 検診概要

目的：大腸がんの早期発見

対象：原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では20,259人の検診を実施し、前年度に比べ313人(1.57%)の増加であった。

職域では6,360人の検診を実施し、前年度に比べ141人(2.17%)の減少であった。

全体では前年度に比べ172人(0.65%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
地域	23,373	20,023	20,310	19,946	20,259
職域	4,326	4,968	6,638	6,501	6,360
計	27,699	24,991	26,948	26,447	26,619

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は1,851人で、要精検率は6.95%であった。

④ 精検受診率

精検受診者数は1,282人で、精検受診率は69.26%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は25人で、0.09%であった。

内訳は男性13人、女性12人であった。

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
がん発見者数	38	36	33	25	25
がん発見率	0.14%	0.14%	0.12%	0.09%	0.09%

3) 検診方法

① 検診項目

問診、検査（免疫学的便ヘモグロビン検査、便採取は2日法）

② 判定区分

異常なし：免疫学的便潜血反応検査において2日とも陰性

要精検：免疫学的便潜血反応検査において1日あるいは2日とも陽性

別表1 大腸がん検診年齢階層別実施状況（地域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明
男	～39	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40～44	230	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	45～49	209	9	5	1	0	0	0	3	1	0	0	0
	50～54	243	16	9	3	0	0	0	3	2	0	1	0
	55～59	366	17	7	3	0	0	0	3	1	0	0	0
	60～64	875	50	35	3	0	2	0	24	1	5	0	0
	65～69	1,703	169	121	14	4	2	0	71	15	10	5	0
	70～74	1,724	140	110	20	3	0	0	62	14	9	2	0
	75～79	1,236	140	102	18	2	2	0	52	8	10	10	0
	80～	1,308	144	126	19	1	1	0	75	16	14	0	0
	計	7,895	690	516	82	10	7	0	293	58	48	18	0
女	～39	5	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	40～44	604	37	13	8	0	0	0	3	0	1	1	0
	45～49	529	21	10	5	0	0	0	1	2	2	0	0
	50～54	661	36	21	8	1	0	0	5	2	5	0	0
	55～59	957	52	36	9	1	2	0	12	3	8	1	0
	60～64	1,739	88	47	14	0	0	0	19	2	7	5	0
	65～69	2,588	143	121	39	3	2	0	43	12	19	3	0
	70～74	2,235	141	114	26	0	0	0	45	12	26	5	0
	75～79	1,576	115	73	19	1	0	0	24	7	20	2	0
	80～	1,470	131	125	26	3	0	0	58	10	21	7	0
	計	12,364	766	561	154	9	4	0	211	50	109	24	0
合計		20,259	1,456	1,077	236	19	11	0	504	108	157	42	0

別表2 大腸がん検診年齢階層別実施状況（職域）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明
男	～39	647	32	14	4	0	0	0	3	3	4	0	0
	40～44	843	42	18	7	1	0	0	8	1	1	0	0
	45～49	660	40	18	4	0	0	0	8	0	4	2	0
	50～54	549	35	14	5	0	0	0	9	0	0	0	0
	55～59	441	33	19	5	0	1	0	7	4	1	1	0
	60～64	361	23	10	2	1	0	0	2	5	0	0	0
	65～69	208	20	13	3	1	1	0	5	1	1	1	0
	70～74	78	6	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0
	75～79	27	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	80～	6	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3,820	235	111	31	3	2	0	46	14	11	4	0	
女	～39	487	36	19	16	0	0	0	1	0	1	1	0
	40～44	458	28	14	8	1	0	0	2	0	1	2	0
	45～49	400	23	13	6	0	0	0	3	0	4	0	0
	50～54	352	18	8	4	1	0	0	2	1	0	0	0
	55～59	383	21	17	7	0	0	0	3	0	6	1	0
	60～64	252	16	13	4	0	0	0	5	2	1	1	0
	65～69	115	6	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0
	70～74	59	6	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	75～79	19	4	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0
	80～	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,540	160	94	50	3	1	0	18	3	13	6	0	
合計	6,360	395	205	81	6	3	0	64	17	24	10	0	

別表3 大腸がん検診年齢階層別実施状況（合計）

区分	年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
					異常なし	大腸がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	大腸ポリープ	憩室	痔	その他疾病	不明
男	～39	648	32	14	4	0	0	0	3	3	4	0	0
	40～44	1,073	47	19	8	1	0	0	8	1	1	0	0
	45～49	869	49	23	5	0	0	0	11	1	4	2	0
	50～54	792	51	23	8	0	0	0	12	2	0	1	0
	55～59	807	50	26	8	0	1	0	10	5	1	1	0
	60～64	1,236	73	45	5	1	2	0	26	6	5	0	0
	65～69	1,911	189	134	17	5	3	0	76	16	11	6	0
	70～74	1,802	146	113	21	3	0	0	64	14	9	2	0
	75～79	1,263	142	103	18	2	2	0	53	8	10	10	0
	80～	1,314	146	127	19	1	1	0	76	16	14	0	0
	不明	7,895	690	516	82	10	7	0	293	58	48	18	0
計	11,715	925	627	113	13	9	0	339	72	59	22	0	
女	～39	492	38	20	16	0	0	0	2	0	1	1	0
	40～44	1,062	65	27	16	1	0	0	5	0	2	3	0
	45～49	929	44	23	11	0	0	0	4	2	6	0	0
	50～54	1,013	54	29	12	2	0	0	7	3	5	0	0
	55～59	1,340	73	53	16	1	2	0	15	3	14	2	0
	60～64	1,991	104	60	18	0	0	0	24	4	8	6	0
	65～69	2,703	149	125	42	3	2	0	44	12	19	3	0
	70～74	2,294	147	117	26	1	0	0	46	12	26	6	0
	75～79	1,595	119	76	21	1	1	0	24	7	20	2	0
	80～	1,485	133	125	26	3	0	0	58	10	21	7	0
	不明	12,364	766	561	154	9	4	0	211	50	109	24	0
計	14,904	926	655	204	12	5	0	229	53	122	30	0	
合計	26,619	1,851	1,282	317	25	14	0	568	125	181	52	0	

(10) 前立腺がん検診

1) 検診概要

目的： 前立腺がんの早期発見

対象： 原則として40歳以上の地域住民及び事業所就業者

2) 実施状況

地域では6,203人の検診を実施し、前年度に比べ10人(0.16%)の減少であった。

職域では370人の検診を実施し、前年度に比べ59人(18.97%)の増加であった。全体では前年度に比べ49人(0.75%)の増加であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
地域	5,709	6,175	6,224	6,213	6,203
職域	266	250	278	311	370
計	5,975	6,425	6,502	6,524	6,573

② 年齢階層別実施状況表

別表

③ 要精検率

要精検者数は420人で、要精検率は6.39%であった。

④ 検受診率

精検受診者数は241人で、精検受診率は57.38%であった。

⑤ がん発見率

発見された人数は26人で、発見率は0.40%であった。

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
がん発見者数	37	39	23	21	26
がん発見率	0.62%	0.61%	0.35%	0.32%	0.40%

3) 検診方法

① 検診項目： 問診、前立腺特異抗原検査 (CLEIA 法)

② 判定区分： PSA の基準値を 4.0ng/ml とし、4.0 以下を異常なし、4.1 以上を要精検と判定

別表1 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（地域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明	
～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44	63	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54	166	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59	253	7	4	1	0	0	0	3	0	0	0	0
60～64	771	36	17	4	3	4	0	2	2	1	1	1
65～69	1,612	94	51	19	6	3	0	16	3	2	2	2
70～74	1,551	119	69	13	11	6	0	33	1	1	1	4
75～79	953	79	42	6	3	9	0	21	1	0	0	2
80～	766	74	51	6	3	10	0	25	0	3	3	4
計	6,203	412	236	51	26	32	0	100	7	7	7	13

別表2 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（職域）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明	
～39	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59	78	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
60～64	49	6	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0
65～69	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～74	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	370	8	5	3	0	0	0	2	0	0	0	0

別表3 前立腺がん検診年齢階層別実施状況（合計）

年齢	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精検結果内訳								
				異常なし	がん	がん疑い	その他の悪性腫瘍	肥大	前立腺炎	その他	不明	
～39	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44	105	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54	276	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59	331	8	5	1	0	0	0	4	0	0	0	0
60～64	820	42	21	7	3	4	0	3	2	1	1	1
65～69	1,636	94	51	19	6	3	0	16	3	2	2	2
70～74	1,553	119	69	13	11	6	0	33	1	1	1	4
75～79	954	80	42	6	3	9	0	21	1	0	0	2
80～	766	74	51	6	3	10	0	25	0	3	3	4
計	6,573	420	241	54	26	32	0	102	7	7	7	13

(1 1) 骨粗鬆症検診

1) 検診概要

目的：骨粗鬆症の予防

対象：地域住民、事業所就業者、学生

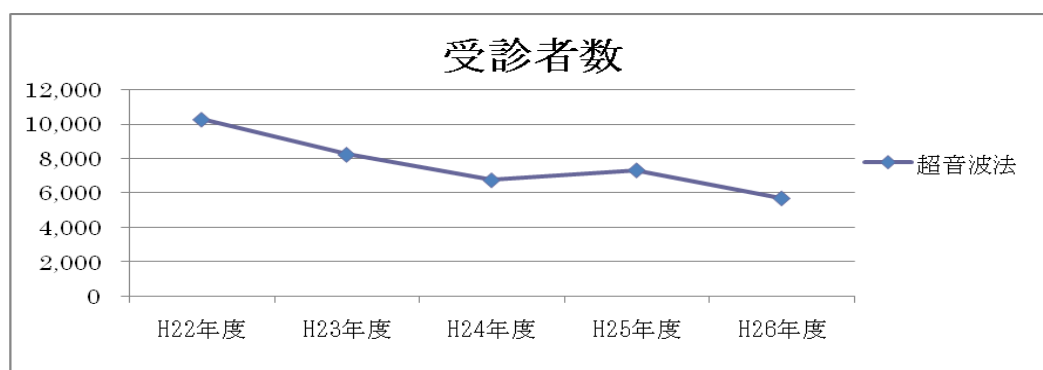
2) 実施状況

5,691人の検診を実施し、前年度に比べ1,637人（22.34%）の減少であった。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
超音波法	10,284	8,239	6,746	7,328	5,691



3) 検診方法

① 検診項目

- ・問診
- ・超音波法：足のかかると超音波をあてて、音響的骨評価値により骨密度を測定

② 判定方法

性別、年齢別に下記判定基準値（YAM値）と照合し医師による最終判定を行う

4) 判定基準値（成人）

性別	年齢	YAM値に対する割合		
		① 異常なし	② 要指導	③ 要精検
女性	59歳以下	90%以上	90%未満 80%以上	80%未満
	60歳以上	90%以上	90%未満 70%以上	70%未満
男性	全年齢	90%以上	90%未満 75%以上	75%未満

(1 2) 学校保健検査

1. 尿検査

1) 検査概要

目的：腎臓病・糖尿病等早期発見

対象：学校保健法に基づく幼児・児童・生徒等

2) 実施状況

163,082人の検査を実施し、前年度に比べ61人(0.04%)の増加であった。

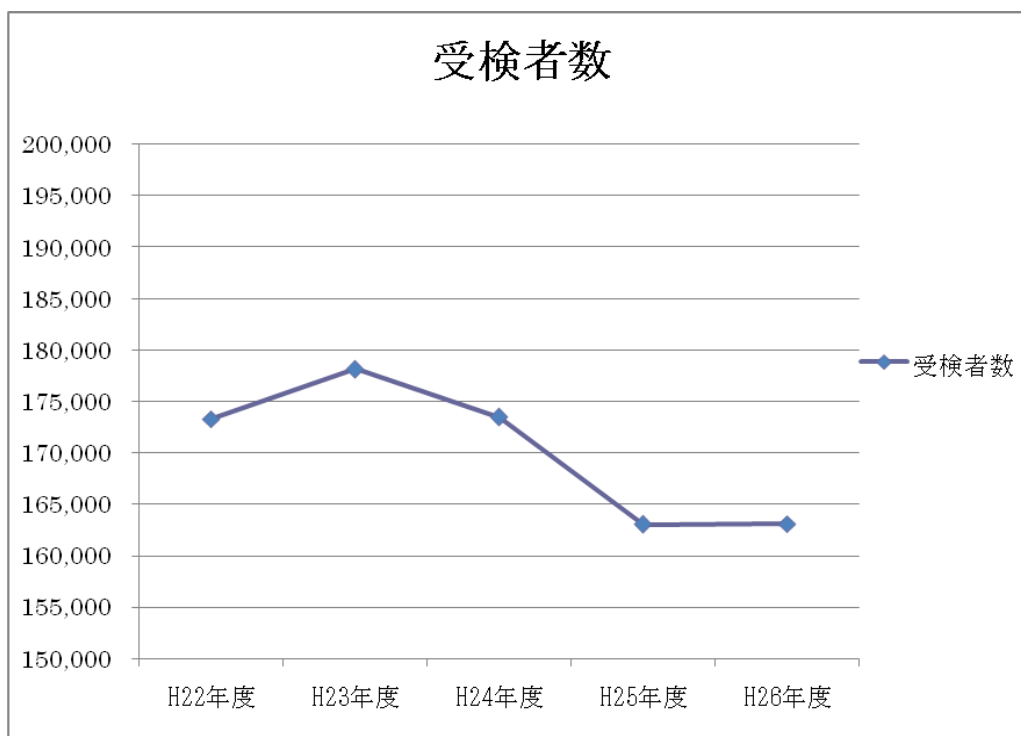
第1回検尿の陽性者は6,926人で、陽性率は4.25%であった。

第2回検尿の陽性者は1,349人で、陽性率は23.32%であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
受検者数	173,309	178,147	173,465	163,021	163,082



② 検査実績

対象	性別	第1回検尿						第2回検尿					
		受診者数	陽性者数	陽性率 (%)	項目別陽性者数			受診者数	陽性者数	陽性率 (%)	項目別陽性者数		
					糖	蛋白	潜血				糖	蛋白	潜血
幼稚園 保育園	男	8,274	70	0.85	3	42	29	42	9	21.43	0	7	4
	女	7,957	124	1.56	2	91	37	72	14	19.44	0	6	9
	計	16,231	194	1.20	5	133	66	114	23	20.18	0	13	13
小学校	男	4,896	583	11.91	18	429	160	520	125	24.04	3	89	59
	女	38,549	1,376	3.57	16	999	419	1,200	301	25.08	3	233	105
	計	43,445	1,959	4.51	34	1,428	579	1,720	426	24.77	6	322	164
中学校	男	21,081	1,368	6.49	31	1,260	115	1,240	273	22.02	8	235	51
	女	19,726	1,708	8.66	28	1,034	774	1,486	368	24.76	5	305	118
	計	40,807	3,076	7.54	59	2,294	889	2,726	641	23.51	13	540	169
高等学校	男	10,980	725	6.60	33	658	57	565	130	23.01	4	117	21
	女	10,812	735	6.80	26	520	245	551	107	19.42	3	94	25
	計	21,792	1,460	6.70	59	1,178	302	1,116	237	21.24	7	211	46
その他 の学校	男	721	26	3.61	6	21	0	22	5	22.73	1	4	0
	女	2,302	66	2.87	6	59	4	40	5	12.50	0	5	0
	計	3,023	92	3.04	12	80	4	62	10	16.13	1	9	0
特殊学校	男	1,172	87	7.42	6	74	13	33	9	27.27	0	8	1
	女	612	58	9.48	4	42	18	14	3	21.43	0	2	1
	計	1,784	145	8.13	10	116	31	47	12	25.53	0	10	2
合計	男	83,124	2,859	3.44	97	2,484	374	2,422	551	22.75	16	460	136
	女	79,958	4,067	5.09	82	2,745	1,497	3,363	798	23.73	11	645	258
	計	163,082	6,926	4.25	179	5,229	1,871	5,785	1,349	23.32	27	1,105	394

3) 検査方法

第1回検尿：蛋白、潜血、糖を、尿自動分析装置（US3300）を用いて定性検査を実施する。
蛋白（±）以上の尿に対しては、スルホサリチル酸法で確認する。

第2回検尿：第1回検尿の陽性者に対し第1回検尿と同様の検査項目・検査方法を行う。
蛋白・潜血陽性者に対しては沈渣鏡検を行う。

2. 寄生虫検査

1) 検査概要

目的： 学校保健法に基づく寄生虫の保卵者の発見

対象： 幼児、児童、生徒等

2) 実施状況

糞便検査は3,368人の検査を実施し、前年度に比べ4,285人（55.99%）の減少であった。

蟯虫検査は55,890人の検査を実施し、前年度に比べ9,275人（14.23%）の減少であった。

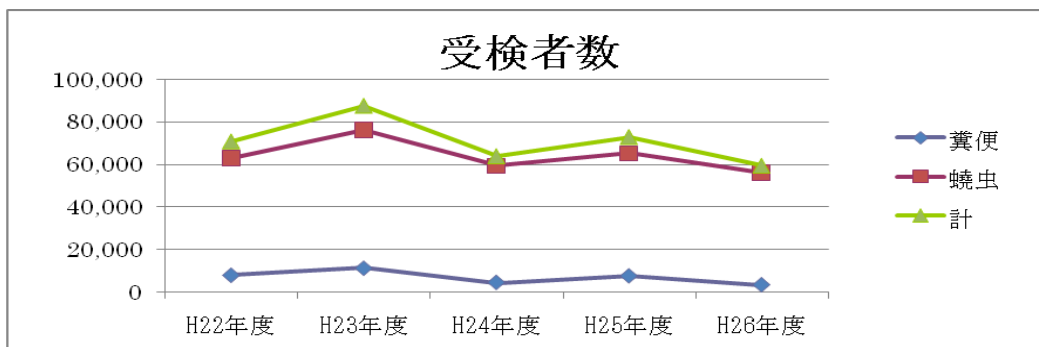
糞便検査の保卵者は0人で、陽性率は0.00%であった。

蟯虫検査の保卵者は18人で、陽性率は0.03%であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
糞便	7,934	11,359	4,511	7,653	3,368
蟯虫	62,810	76,236	59,286	65,165	55,890
計	70,744	87,595	63,797	72,818	59,258



② 検査実績

区分	糞便			蟯虫		
	検査者数	保卵者数	陽性率(%)	検査者数	保卵者数	陽性率(%)
保育園 幼児クラブ	757	0	0.00	6,251	0	0.00
幼稚園	746	0	0.00	13,449	2	0.01
小学校	1,422	0	0.00	35,687	16	0.04
特殊学校	443	0	0.00	503	0	0.00
計	3,368	0	0.00	55,890	18	0.03

3) 検査方法

- ・セロファンテープ肛囲検査法（2回法）： 蟻虫卵検査方法はセロテープ法を用いた採卵を行う。夜間に肛門周囲に産卵された蟻虫卵を早朝セロテープの粘着部に付着させ、これを2日間（2回）行い、顕微鏡下で虫卵の有無を鏡検する。
- ・セロファン厚層塗抹法： 便をマッチの頭程度スライドに乗せ、顕微鏡下で虫卵の有無を鏡検する。

3. 貧血検査

1) 検査概要

目的： 貧血をはじめとする血液学的疾病の早期発見

対象： 児童、生徒等

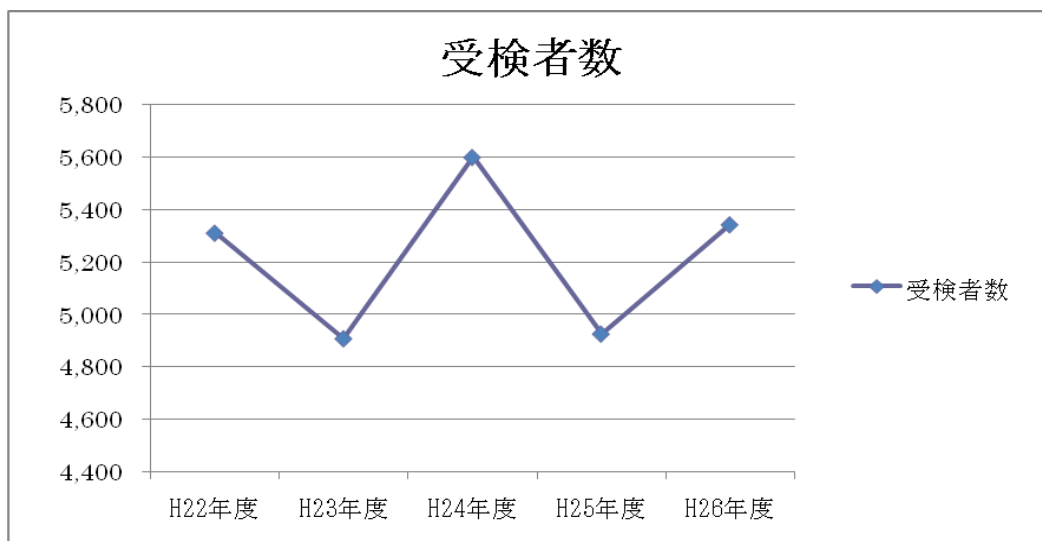
2) 実施状況

5,344人の検査を実施し、前年度に比べ417人(8.46%)の増加であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
受検者数	5,312	4,909	5,601	4,927	5,344



② 検査実績

区分	性別	RBC (赤血球数)		Hb (ヘモグロビン)		Ht (ヘマトクリット)	
		受診数	基準外	受診数	基準外	受診数	基準外
中学校	男	143	7	143	15	143	13
	女	232	19	232	17	232	15
高校	男	2,033	396	2,033	172	2,033	68
	女	2,936	392	2,936	295	2,936	221
計		5,344	814	5,344	499	5,344	317

3) 検査方法

静脈より採血し、全自動血球計数装置 (XE2100) でRBC (赤血球数)、Hb (ヘモグロビン)、Ht (ヘマトクリット) の値を測定する。

4. 心臓検診

1) 検診概要

目的：心疾患児の発見とともに重症度を判定し、突然死等の発生の予防
 対象：学校保健法に基づく、小学校1年生、小学校4年生、中学校1年生、
 高等学校1年生及びその他の学年

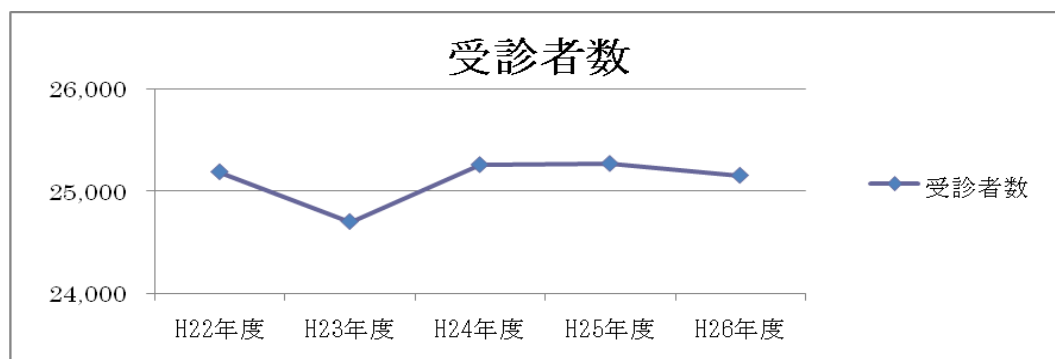
2) 実施状況

25,156人の検診を実施し、前年度に比べ116人(0.46%)の減少であった。
 有所見率は2.71%であった(医師会審査判読分は除く)。

① 受診者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
受診者数	25,191	24,701	25,261	25,272	25,156



② 検診実績

区分	受診者数	判定		
		正常	有所見	有所見率
小学校	6,089	5,987	99	1.63
中学校	5,996	5,844	152	2.54
高校、大学	8,313	8,044	269	3.24
特殊学校	415	371	44	10.60
計	20,813	20,246	564	2.71

※ 医師会審査判読分(4,281人)を除く

3) 検診方法

心臓検診票と省略4誘導心電図+2点心音図を実施。一部の学校では標準12誘導心電図を実施。

県医師会解析センターで自動解析(一次判読)後、一次有所見者と検診票
 有点者をふるい分けし、市医師会心臓判定委員会、財団専門医師等で二次判読
 を実施し最終判定を行う。

5. 小児生活習慣病予防健診

1) 健診概要

目的：生活習慣病及び生活習慣病予備軍の発見

対象：小学校4年生と中学校1年生の生徒（1市のみ実施）

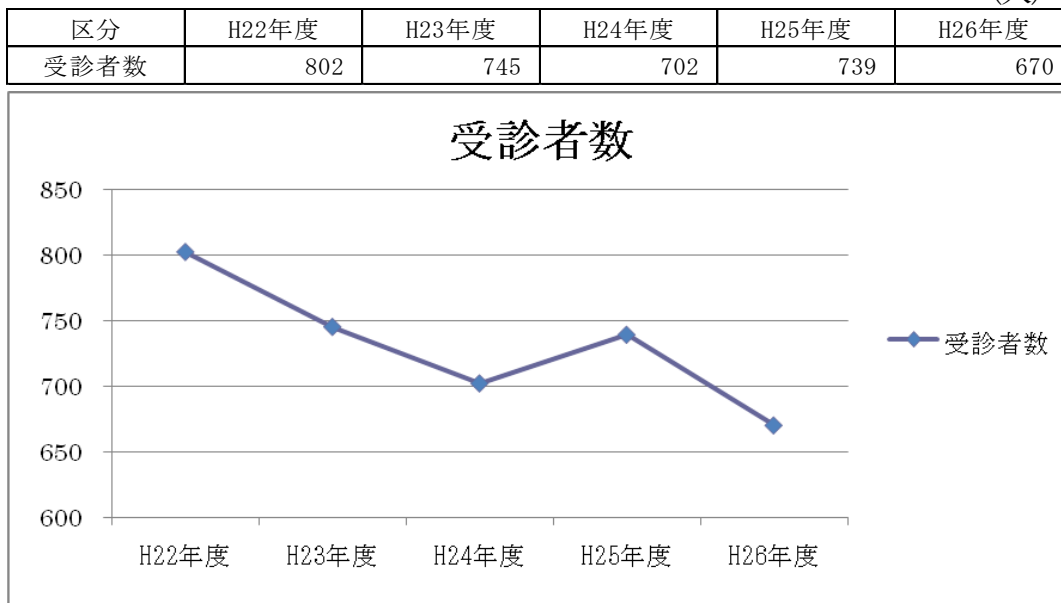
2) 実施状況：

670人の健診を実施し、前年度に比べ69人（9.34%）の減少であった。

また、判定結果で何らかの管理を要する生徒は175人（26.1%）であった。

① 受診者数の年次推移

(人)



② 健診実績

区分	受診者数	管理区分										
		要医学的管理 (I)		要経過観察 (II)		要指導 (III)		管理不要 (IV)		正常 (N)		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
小学校 4年生	男	163	4	2.5	10	6.1	27	16.6	75	46.0	47	28.8
	女	149	3	2.0	10	6.7	31	20.8	75	50.3	30	20.1
	計	312	7	2.2	20	6.4	58	18.6	150	48.1	77	24.7
中学校 1年生	男	199	5	2.5	10	5.0	29	14.6	112	56.3	43	21.6
	女	159	6	3.8	7	4.4	33	20.8	86	54.1	27	17.0
	計	358	11	3.1	17	4.7	62	17.3	198	55.3	70	19.6
合計	男	362	9	2.5	20	5.5	56	15.5	187	51.7	90	24.9
	女	308	9	2.9	17	5.5	64	20.8	161	52.3	57	18.5
	計	670	18	2.7	37	5.5	120	17.9	348	51.9	147	21.9

3) 健診方法

① 健診項目

小児生活習慣病予防健診調査票（家族歴、糖尿病の有無）、身体計測（肥満度の計算）、血中脂質検査、血圧測定

② 判定区分

健診各項目を小児生活習慣病基準値からの乖離度合で判定し、同時にその判定の組合せで5段階の総合判定を行う。

総合判定には専門医師が関与するとともに総合判定のランクに対応して指導（管理）区分を決定する。

管理区分	内容
I	要医学的管理
II	要経過観察
III	要指導
IV	管理不要
N	正常

(13) 先天性代謝異常等検査

1) 検査概要

目的：先天性代謝異常症等の早期発見

対象：新生児（原則として保護者の検査希望）

2) 実施状況

平成11年度より岡山県からの委託事業として実施しているが、平成18年度より高知県、平成20年度より鳥取県から委託を受け、平成21年度より政令指定都市への移行に伴い、岡山市から委託を受けている。

また平成24年度からタンデムマス検査が導入され対象疾患は従来の6疾患から19疾患に拡大し、一時的ではあるが埼玉県、愛媛県からの委託を受けた。

平成25年度からは島根県より3項目の委託を受けた。

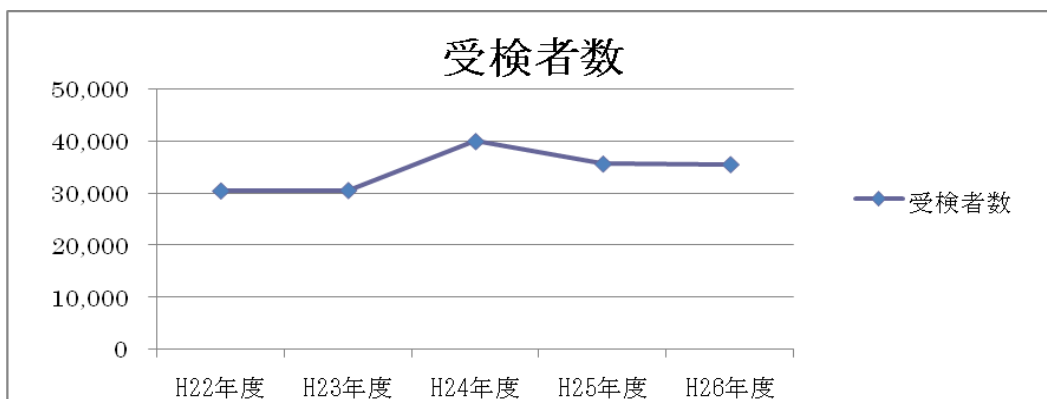
35,543人（初回検体数:33,521人、再採血による再検査数:2,022人）の検査を実施し、前年度に比べ116人（0.33%）の減少であった。

内訳は要再検査2,100人（6.26%）、要精検203人（0.61%）、確定患児42人（0.13%）であった。

① 受検者数の年次推移

(人)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
受検者数	30,440	30,538	40,000	35,659	35,543



② 検査実績

対象疾患	初回検体数	要再検査	要精検	患児件数
先天性甲状腺機能低下症	33,521	648 (1.93%)	108 (0.32%)	39 (0.12%)
先天性副腎過形成症		496 (1.48%)	73 (0.22%)	3 (0.01%)
ガラクトース血症		77 (0.23%)	10 (0.03%)	0 (0.00%)
アミノ酸代謝異常症	27,505	10 (0.03%)	4 (0.01%)	0 (0.00%)
有機酸代謝異常症	21,939	71 (0.21%)	7 (0.02%)	0 (0.00%)
脂肪酸代謝異常症		31 (0.09%)	1 (0.00%)	0 (0.00%)
低出生体重児と検体不備の2回採血		767 (2.29%)		

3) 検査方法

出生から4～6日目に、新生児の踵から4スポットの血液をろ紙に採血する。

よく乾燥されたものを検体とする。

ガラクトース血症はマイクロプレート酵素法及びボイトラー法で検査。

先天性甲状腺機能低下症・先天性副腎過形成症はELISA法で検査。

アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症はタンデムマス法で検査する。

2 環 境 部

(1) 飲料水検査

1) 検査概要

目的・・・水道事業、食品製造、飲用井戸、建築物等における安全な飲み水の確認
 対象・・・自治体、事業所、建築物管理者、貯水槽清掃業者及び個人

2) 実施状況

11,228 件検査を受託し、前年度と比較し 79 件減少した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
11,359	11,703	10,745	11,163	11,236	11,239	11,307	11,228

② 平成 26 年度の検査実績

(件)

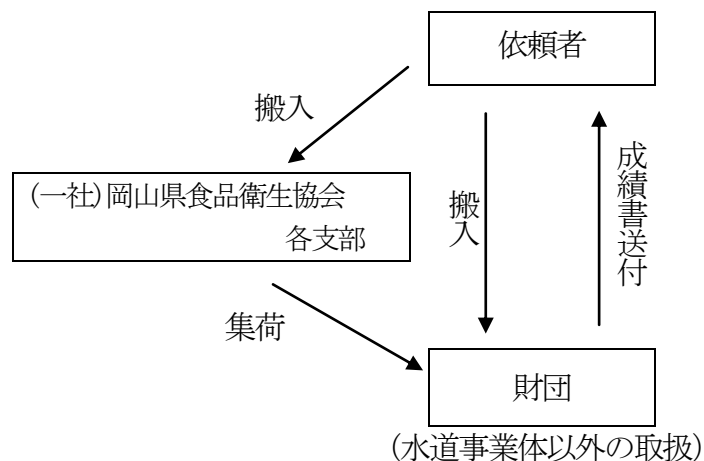
業務分類	検査種別	件数
水道事業	基準項目	620
	省略不可項目	691
	簡易項目	2,471
	水質管理目標設定項目	125
	農薬類	994
	クリプトスポリジウム	594
	クリプトスポリジウム汚染指標菌	1,722
ビル管理関係	16項目	205
	10項目	118
	消毒副生項目	138
食品衛生関連	食品製造用水	94
	ミネラルウォーター	16
飲用井戸水等	化学・細菌検査	3,592

3) 検査方法

厚生労働省告示第 261 号、上水試験方法、食品衛生法等による試験法で各検査項目を測定する。

4) 検査システム

検体の搬入は、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が集荷する。水道事業体については職員が現地訪問により採取し、搬入後、理化学的検査と生物学的検査の部門別に検査を行い、検査成績書を発行する。



5) 登録検査機関

水道法に基づき指定検査機関として認可されていたが、同法の改正により平成16年2月27日から厚生労働大臣が認可する登録検査機関に移行した。

また、ビル管理法に基づく水質検査は昭和47年より登録検査機関となっている。

(2) 簡易専用水道検査

1) 検査概要

目的・・・建築物等における安全な飲み水の確保
 対象・・・マンション・学校・病院・事務所ビル等

2) 実施状況

2,125 件検査を受託し、前年度と比較し7件増加した。

① 受託検査数の年度別推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
2,073	2,078	2,106	2,125	2,127	2,104	2,118	2,125

② 平成26年度の検査実績

(件)

簡易専用水道		小規模 貯水槽水道他	総件数
現場検査	書類検査		
1,718	266	141	2,125

③ 平成26年度の不適合率

簡易専用水道	小規模 貯水槽水道	全 体
36.8%	29.9%	36.4%

※不適合率とは「良好」以外と判定された施設の割合

④ 簡易専用水道の不適合率の年度別推移

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
48.7%	48.0%	45.5%	43.5%	44.0%	43.0%	38.2%	36.4%

3) 検査方法

水道法、施行規則、厚生労働省告示、岡山県、岡山市及び岡山市簡易専用水道の取扱に係る指導指針

4) 検査システム

検査実施については、設置者又は設置者の委託を受けた管理者等からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

水道法第34条2の第2項に基づく指定検査機関として昭和54年10月から検査を行っているが、同法の改正により平成16年3月31日から厚生労働大臣が認可する登録検査機関に移行した。

(3) 浄化槽法定検査

1) 検査概要

目的・・・事業所・店舗や家庭等の浄化槽放流水による公共用水域の水質の保全
 対象・・・自治体、浄化槽設置者又は管理者

2) 実施状況

7条検査 1,201 件、11条検査 49,504 件を合わせて 50,705 件の検査を受託し、前年度と比較し 266 件の減少であった。

① 法定検査数の年次推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
50,887	50,960	50,725	50,578	50,638	50,591	50,325	50,705

② 7条検査数の年次推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
1,895	1,739	1,608	1,237	1,269	1,118	1,062	1,201

③ 11条検査数の年次推移

(件)

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
48,992	49,221	49,117	49,341	49,369	49,473	49,263	49,504

④ 平成26年度の検査判定内訳

(件)

判定	7条検査	11条検査		
			みなし 浄化槽	合併処理 浄化槽
適正	921	36,364	10,913	25,451
概ね適正	277	12,651	3,546	9,105
不適正	3	489	287	202
総件数	1,201	49,504	14,746	34,758

3) 検査方法

浄化槽法、施行規則、環境省告示、岡山県及び岡山市要綱

4) 検査システム

○7条検査（設置後検査）

浄化槽設置者（又は施工業者）は、浄化槽設置前に設置票、7条検査依頼書に検査料金を添えて岡山県浄化槽施工協同組合の窓口提出する。

提出された書類、検査料金は後日検査機関に送付され、7条検査の実施計画を立てる。検査料金は、浄化槽の規模にかかわらず1件について8,000円（非課税）と定めている。

○11条検査（年1回定期検査）

浄化槽設置者（管理者）は、保守点検業者、清掃業者及び指定検査機関と一括契約方式により委託契約を結び、検査料金は保守点検業者の協力により保守点検料金に含めて徴収され、法定検査実施後に検査機関に支払われる。

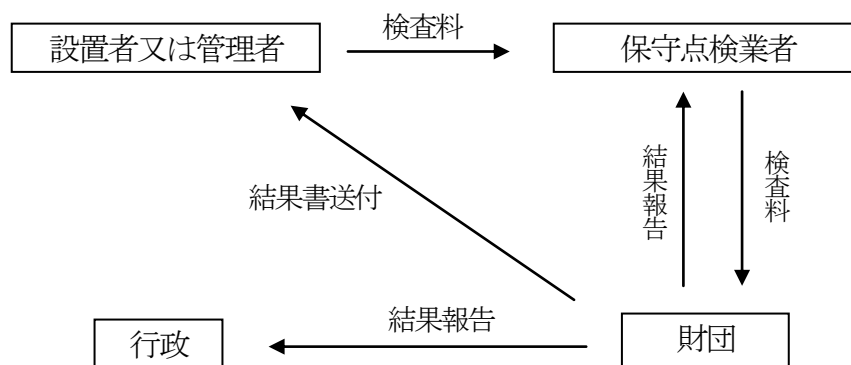
検査料金は、浄化槽の規模にかかわらず1件について5,700円（非課税）と定めている。

○検査について

検査は、外観検査、水質検査、書類検査について行い、設置者（管理者）に検査結果書を送付する。

検査結果で「不適正」と判定された浄化槽並びに未保守浄化槽については、関係行政機関、関係団体に報告し改善指導を要請している。

また、保守点検業者及び施工業者にも改善策を講ずるべく不適正の内容を報告している。



5) 指定検査機関

昭和61年4月に浄化槽法第57条の規定に基づく岡山県知事指定浄化槽検査機関として指定を受け検査を開始する。

(4) 岡山県浄化槽水質管理実施要綱に基づく検査

1) 検査概要

目的・・・事業所、店舗、家庭等の浄化槽放流水の水質状況確認、及び浄化槽の
浄化機能検査

対象・・・浄化槽設置者又は管理者

2) 実施状況

6,694 件検査を受託し、前年度より 8 件減少した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
7,555	7,481	7,328	7,262	7,324	7,066	6,702	6,694

② 検査実績

(件)

26 年度	機能検査	放流水検査
総検査項目数	662	6,032

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	6,577
BOD	5,976
COD	3,874
SS	3,796
ノルマルヘキサン抽出物質	757
全窒素	3,204
全りん	3,216
塩化物イオン	4,693
透視度	4,726
大腸菌群数	2,373
外観	6,566
臭気	4,726

3) 検査方法

衛浄第34条、JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、対象施設の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 指定検査機関

昭和61年4月に浄化槽法第57条の規定に基づく岡山県知事指定浄化槽検査機関として指定を受け検査を開始する。

(5) 産業排水検査

1) 検査概要

目的・・・事業所等による排水の汚染状況確認
対象・・・自治体、事業所、ホテル、老健施設等

2) 実施状況

2,221 件検査を受託し、前年度より 40 件減少した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
2,994	5,465	3,150	2,798	2,550	2,969	2,251	2,211

② 検査実績

(件)

26 年度	理化学項目検査	微生物項目検査
総検査項目数	16,227	876

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	1,486
BOD	1,641
COD	1,994
DO	37
SS	1,504
ノルマルヘキサン抽出物質	1,177
全窒素	1,734
全りん	1,711
塩素イオン	320
カドミウム	104
鉛	108
六価クロム	150
シアン化合物	106
有機リン	75
ヒ素	89
総水銀	103
アルキル水銀	76
PCB	70
六価クロム溶出試験	65
大腸菌群数	876

3) 検査方法

JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、官公庁及び事業場等の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録の計量法第107条の計量証明事業所

(6) 河川水検査

1) 検査概要

目的・・・河川、海域及び湖沼等における自然環境の保全と安全な生活環境の確保
対象・・・自治体、事業所等

2) 実施状況

1,567 件検査を受託し、前年度より 55 件増加した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
1,947	1,600	1,423	2,035	1,617	1,847	1,512	1,567

② 検査実績

(件)

26 年度	理化学項目検査	微生物項目検査
総検査項目数	15,181	1,439

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
pH	1,944
BOD	1,356
COD	1,392
DO	1,726
SS	1,532
ノルマルヘキサン抽出物質	314
全窒素	949
全りん	920
塩素イオン	328
カドミウム	156
鉛	171
六価クロム	127
シアン化合物	134
有機リン	8
ヒ素	216
総水銀	164
アルキル水銀	127
PCB	130
農薬（ゴルフ場等）	171
一般細菌数	9
大腸菌群数	1,103
大腸菌数	325

3) 検査方法

JIS K 0102 工場排水試験法、環境省告示等による試験方法で検査項目を測定する。

4) 検査システム

検査実施については、官公庁及び事業場等の管理者からの依頼により検査を行い、結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録の計量法第107条の計量証明事業所

(7) 食品検査

1) 検査概要

目的・・・安心・安全な食品の確保、飲食物に起因する衛生上の危害防止
 対象・・・自治体、食品製造業者、食品販売店及び給食事業所等

2) 実施状況

6,414 件検査を受託し、前年度と比較し 1,004 件増加した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
衛生検査	7,811	6,570	5,584	6,172	5,828	5,763	5,410	6,414
輸入食品 自主検査等	—	37	95	65	48	68	57	43

② 検査実績

(件)

26年度	理化学的検査項目	細菌学的検査項目
検査項目数	3,470	11,580

③ 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
栄養成分等検査	1,447
添加物等検査	144
重金属類の検査	954
農薬等検査	99
細菌数	3,312
大腸菌群	2,847
サルモネラ	823
黄色ブドウ球菌	1,505
腸炎ビブリオ	230
腸管出血性大腸菌	290
器具容器包装の検査	181
家庭用品検査	33
ノロウイルス	434

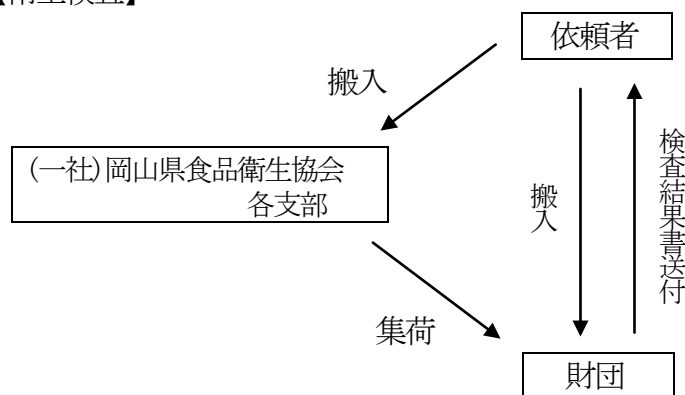
3) 検査方法

食品衛生法等に基づく公定法又は公定法に準拠した方法により、国の認可を受けた「検査実施標準作業書」等に基づき行う。

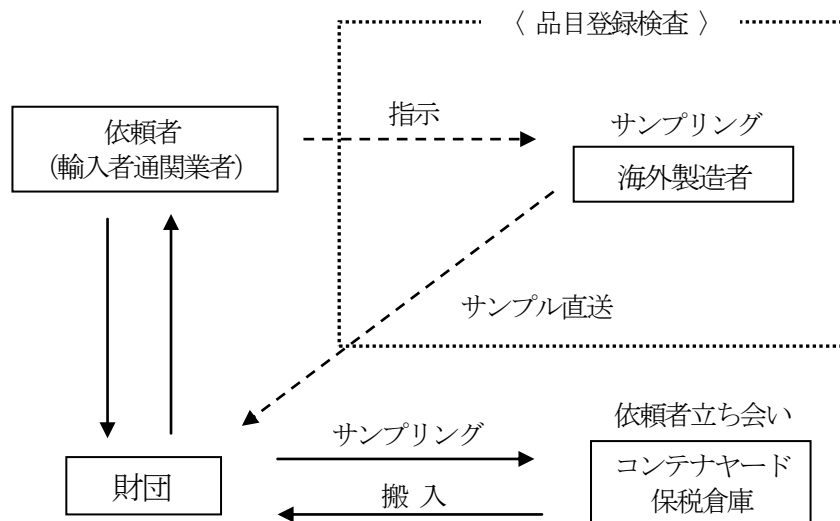
4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が集荷する。また、輸入食品等自主検査等は、登録検査員が現場に出向きサンプルを採取し、搬入後、理化学的検査と細菌学的検査の検査を行い、検査結果書を送付する。

【衛生検査】



【製品検査・輸入食品等自主検査】



5) 登録検査機関

食品衛生法に基づき昭和 63 年 3 月 10 日付けで認可されていた「指定検査機関」が同法の改正により平成 16 年 2 月 27 日から厚生労働大臣が認可する「登録検査機関」に移行し、平成 21 年 2 月 27 日付けで厚生労働大臣から登録の更新を受けている。また、平成 21 年 6 月に食品衛生法第 26 条 3 項の追加登録を受け、輸入食品等命令検査の受託を開始した。

(8) 腸内細菌検査等

1) 検査概要

目的・・・腸内細菌に起因する衛生上の危害防止
対象・・・食品製造業者及び給食事業所等

2) 実施状況

8,742 件検査を受託し、前年度より 291 件した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
10,753	11,213	11,708	10,297	10,507	10,244	9,033	8,742

② 主な項目の検査数

(件)

	検査項目	件数
腸内細菌	赤痢・腸チフス・パラチフス	8,969
	サルモネラ	8,904
	腸炎ビブリオ	230
	腸管出血性大腸菌 (O-157 を含む)	9,162
砂場の砂	犬猫回虫卵	91
	砂場の細菌 (E. coli)	40

3) 検査方法

食の安全を確保するための微生物協議会の「食品関連従事者の腸管系病原菌保菌者検査マニュアル」に基づき行う。

4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が回収、搬入後、検査を行い、検査結果書を送付する。

(9) その他の検査

1) 検査概要

目的・・・プール、温泉等の衛生管理の保全とレジオネラ症の発症防止

対象・・・学校、温泉施設等

2) 実施状況

1,874 件検査を受託し、前年度より 529 件減少した。

① 受託検査数の年次推移

(件)

19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
1,593	1,571	1,470	1,470	1,294	1,316	2,403	1,874

② 主な項目の検査数

(件)

検査項目	件数
プール水検査 (化学・細菌)	231
プール水検査 (トリハロメタン)	485
温泉検査	21
室内の化学物質検査	4
浴槽水検査	651
レジオネラ属菌検査	700

3) 検査方法

「遊泳用プールの検査基準について」及び「学校環境衛生の基準」に示された内容に沿って、定められた項目及び検査方法で検査を実施する。

温泉法、温泉法施行規則、鉱泉分析法指針に則り実施する。

室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について実施する。

4) 検査システム

検査実施については、依頼者が直接財団に持参するか、(一社)岡山県食品衛生協会の各支部へ搬入したものを職員が回収、あるいは職員が現場に出向きサンプルを採取し、搬入後、検査を行い、検査結果書を送付する。

5) 登録検査機関

岡山県知事登録温泉分析機関

(10) 精度管理

1) 環境部における ISO9001:2008 の運用状況

環境部及び北部支所においては、河川水・排水検査及び簡易専用水道検査部門で、顧客サービスの向上と品質管理システムの強化を目指す目的から、平成 14 年 10 月に（一財）日本品質保証機構（JQA）から ISO9001:2000 の認証を取得した。

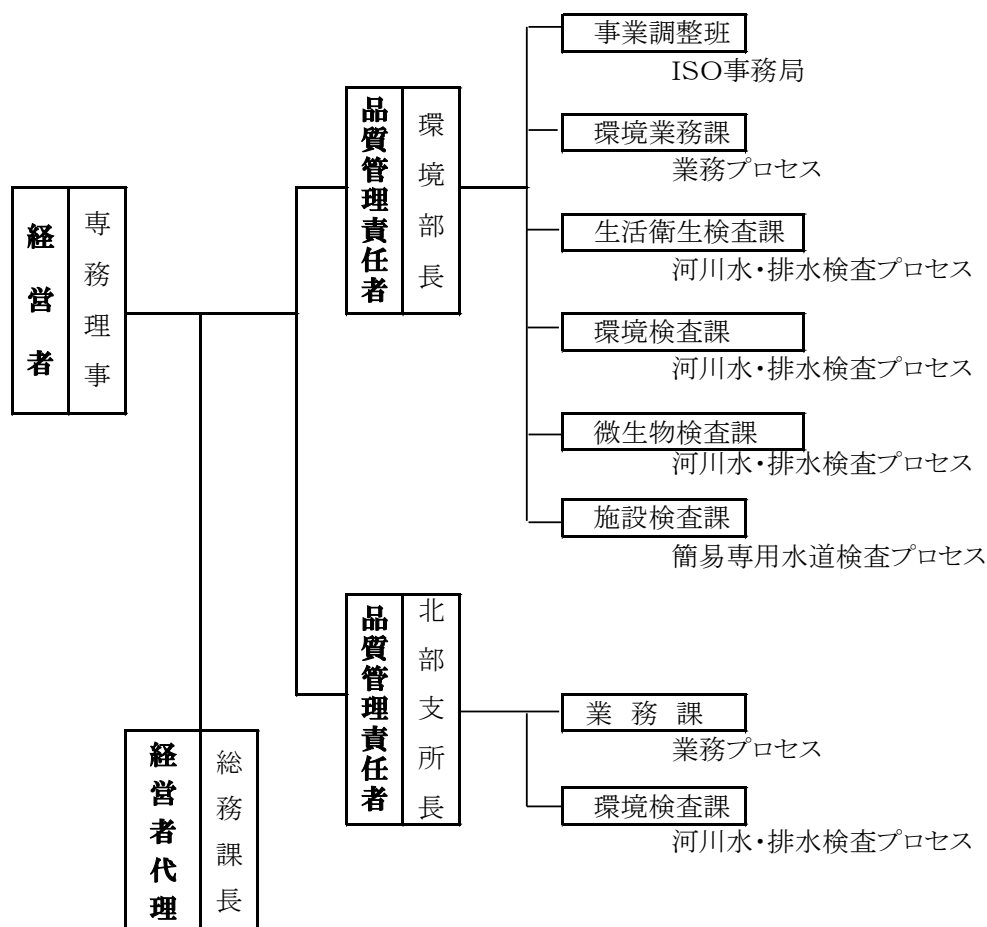
また、平成 22 年 9 月には、登録の更新と最新規格の ISO9001:2008 年版への移行審査を受けて「適合」と判断され、10 月に認証を更新取得した。

なお、年 2 回の内部監査と年 1 回の外部審査を計画実行し、年度末には経営者によるマネジメントレビューで管理システムの有効性評価を行い、継続的改善に繋げている。

2) ISO 対象組織と責任体制

経営者に専務理事、その代理者を総務課長とし、品質管理責任者である環境部長並びに北部支所長を中心に品質管理体制の強化を図り、品質管理の継続的改善に努めている。

平成 26 年度の ISO9001 対象部門の体制



3) 水道 GLP 体制の強化及び取り組み状況

環境部では飲料水検査部門において、平成 21 年 1 月に水質検査機関による水道水水質検査結果の信頼性確保を目的とした（公社）日本水道協会の水道水質検査優良試験所規範（水道 GLP）の認定を取得し、水道 GLP 品質管理マニュアルに従い、水道検査を適切に実施すると共に、内部及び外部精度管理の実施や記録の管理を厳重に行い、水道 GLP 体制の維持向上に努めている。

また、毎年厚生労働省が行っている水道水質検査の統一精度管理調査においては、連続して最高の評価を受けている。

4) 食品 GLP 体制の強化及び取り組み

食品衛生法では、登録検査機関で実施される試験検査結果の信頼性を確保するためのシステムとして GLP 体制の導入が義務づけられており、体制強化に職員一丸となって取り組むとともに、外部精度管理調査への参加や内部精度管理の計画的実施により、検査精度の維持・向上に努めている。

また、毎年、中国四国厚生局による立ち入り検査が実施され、その際の指摘事項については速やかに改善措置を講じている。

3 食鳥検査事業

「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」に基づき、厚生労働大臣の指定検査機関として岡山県知事の委任を受け、県内の大規模食鳥処理場5施設（ブロイラー処理2施設、成鶏処理3施設）に、13名の検査員（獣医師）を派遣している。高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）をはじめ、鶏病の検査を実施し、検査不合格の食鳥の廃棄措置等、安全で安心な鶏肉の流通の確保に努めた。

(単位：千羽)

区分 \ 年度	平成25年度	平成26年度	増減 (%)
食鳥検査羽数	14,909	15,319	102.7

1) 検査概要

目的・・・疾病罹患食鳥肉を排除し、食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止する。

対象・・・県内の大規模食鳥処理場（年間30万羽を超えて処理する施設）5施設。

（内訳：ブロイラー処理2施設、成鶏処理3施設）

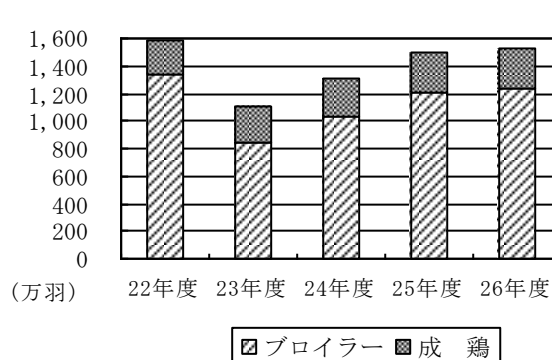
2) 実施状況

15,319,382羽の検査を実施し、前年度比102.7%であった。

内訳はブロイラー12,430,314羽（前年度比102.6%）、成鶏2,889,068羽（前年度比103.3%）であった。

① 検査羽数の年次推移

年度	ブロイラー	成鶏	合計
22年度	13,319,483	2,463,452	15,782,935
23年度	8,411,892	2,609,795	11,021,687
24年度	10,305,701	2,748,679	13,054,380
25年度	12,112,752	2,796,706	14,909,458
26年度	12,430,314	2,889,068	15,319,382



② 検査実績

(平成26年度)

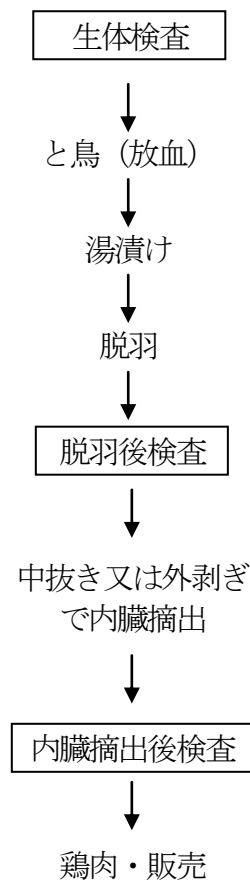
検査項目		廃棄区分			
		禁 止	全部廃棄	一部廃棄	
疾病別羽数	ウイルス・クラミジア類	高病原性鳥インフルエンザ			
		鳥インフルエンザ			
		鶏痘			
		伝染性気管支炎			
		伝染性喉頭気管炎			
		伝染性ファブリキウス嚢病			
		ニューカッスル病			
		鶏白血病			
		封入体肝炎			
		マレック病		1	
	その他				
	細菌症	鶏マイコプラズマ病			
		大腸菌症	5,281	81,704	
		伝染性コリーザ			
		サルモネラ病		8	
		鶏結核病			
		ブドウ球菌症	37	92	
	その他				
	その他の疾病	毒血病			
		膿毒症			
		敗血症	67	424	
		豚丹毒菌病			
		ロイコチトゾーン病			
		真菌症			
		原虫症（トキソ除）			
		寄生虫病			
		変性	8,607	43,008	21,153
		尿酸塩沈着症			
		水腫	1	47	812
		腹水症	6,451	28,974	
		出血	61	4,570	5,313
		炎症	1,569	11,688	209,727
		萎縮	1	3	
		腫瘍	15	5,083	5,905
		臓器の異常・色形臭等		1	
		異常体温			
		黄疸		13	
		外傷	8	441	11,555
	中毒諸症				
	削瘦・発育不良	12,243	13,009		
放血不良	2	5,087			
湯漬過度		795			
その他	6	16,456			
合 計		34,349	211,404	254,465	
		500,218			

3) 検査方法

「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」に基づき、検査員（獣医師）が各処理場の従業員である食鳥処理衛生管理者と連携して検査を実施する。

4) 検査システム

鶏病の種類・程度等により「と鳥または解体禁止」、「全部廃棄」、「一部廃棄」に分類し処理される。



高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の検査は、疑わしい場合に簡易検査キットを使用して検査する。

5) 法律上の位置づけ

厚生労働大臣の指定検査機関であり、また、岡山県知事の委任検査機関である。

4 附属病院

医療の提供

診療科は内科、呼吸器科、胃腸科、循環器科、放射線科、リハビリテーション科で、病床数126床で運営している。

呼吸器疾患の専門性を活かし肺結核、慢性呼吸不全、気管支喘息、肺がんなどの治療に取り組むとともに、気管支鏡検査をはじめとした確定診断や治療法の選択を行い、他の医療機関からの患者紹介に対応している。

また、病院が行う健康診断や財団内の人間ドック部門・健康診断部門・健康増進部門との連携により、脳卒中、がん、心臓病、糖尿病などの生活習慣病の早期発見、早期治療に努めるとともに、禁煙指導にも重点を置いており、ニコチン依存から逃れるための禁煙外来や啓発のための講師派遣も行っている。

(1) 外来状況

1) 概要

内科全般を広く診療し、特に呼吸器疾患に対する専門医の適切な診断・治療に取り組んでいる。

また、生活習慣病の早期発見、早期治療のため健康診断を実施し予防医療に努めている。

診療時間：平 日 9：00～12：00 13：30～17：00
土曜日 9：00～12：00（健康診断は行っていない）

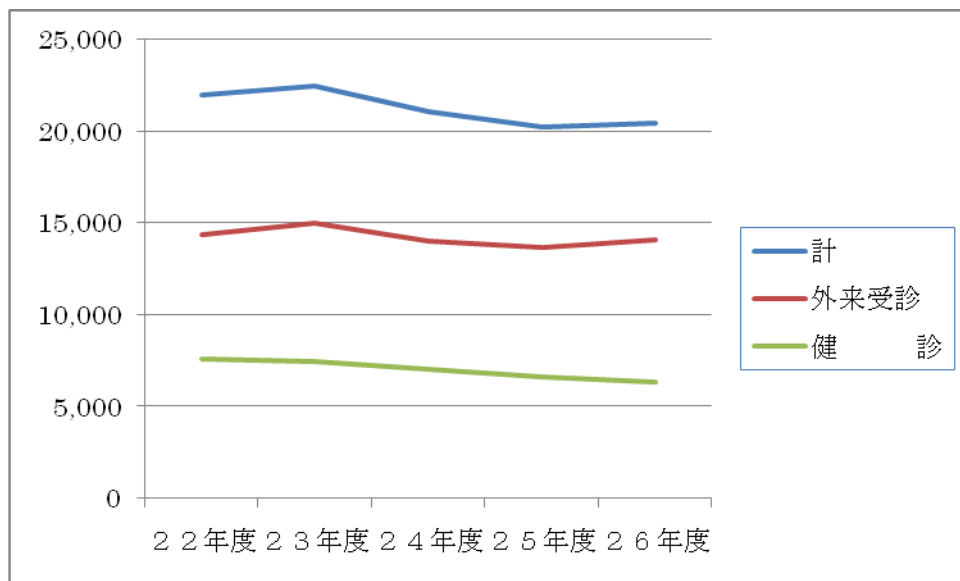
2) 状況

① 年度別外来受診・健診の状況

(人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
外来受診	14,387	15,016	14,044	13,652	14,112
健 診	7,612	7,451	7,044	6,584	6,304
計	21,999	22,467	21,088	20,236	20,416

② 外来患者年度推移



(2) 入院状況

1) 概要

呼吸器疾患の専門性や一般病棟と療養病棟の併設メリットを活かしながら、「信頼される医療の確保」、「心のかよう看護の推進」に取り組んでいる。

機能性と安全性を重視した医療設備により、専門的で人に優しい医療の提供を行っている。

病棟
看護体制

結核46床 (内休止26床) 一般40床 療養40床
2交代制

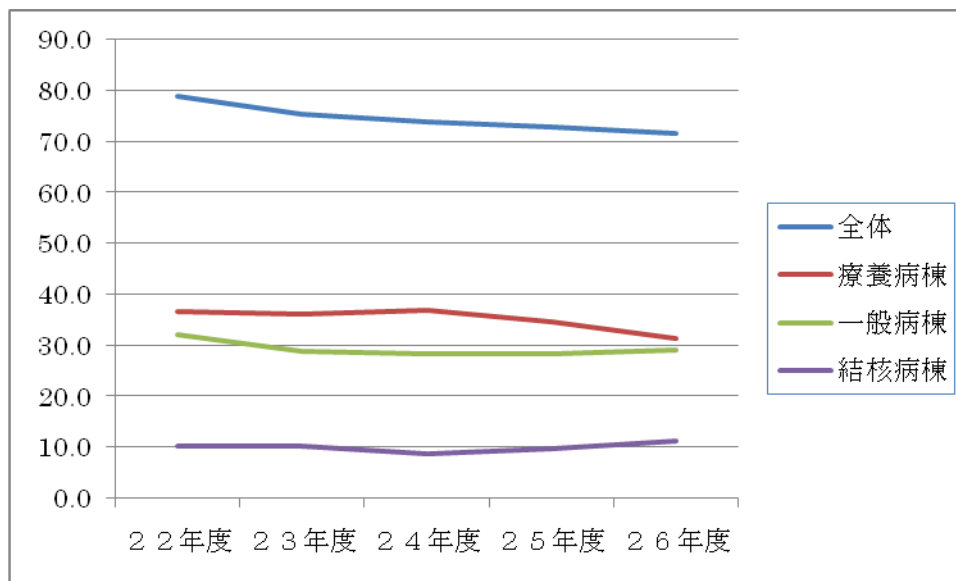
2) 状況

① 年度別入院患者の状況 (1日当たりの患者数)

(人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
結核病棟	10.1	10.2	8.6	9.7	11.2
一般病棟	32.0	28.9	28.3	28.4	29.0
療養病棟	36.8	36.2	37.0	34.6	31.3
全体	78.9	75.4	73.9	72.7	71.5

② 入院患者年度推移



(3) リハビリテーション

各種リハビリ機器を備えた訓練室と理学療法士による専門的リハビリにより、QOLを高めるとともに機能回復に努めている。

本院は、呼吸器の専門病院でもあるため、COPDなど呼吸器疾患の患者に呼吸方法の指導や運動療法など、在宅での自己管理についても指導している。

(4) 先進の医療機器による検査

早期発見、早期治療のため、電子内視鏡、超音波断層装置、CT、MRIを活用し、的確な診断のもとに治療を行っている。

(5) 安全・安心な患者満足度の高い医療の提供

医療安全管理委員会、感染予防対策委員会などの各委員会の活性化を図り、安全・安心な医療サービスの提供に努めている。

また、小集団活動で病棟の清潔な環境確保等に取り組むとともに、高齢者にも食べやすく美味しいソフト食の提供など調理方法の工夫を行っている。

(6) 地域連携の推進

地域連携室を設け、地域の病院や診療所と連携し、紹介患者のスムーズな受け入れに努めており、入院患者の約7割が地域の病院・診療所からの紹介となっている。

また、開業医との連携を密にし、短期入院患者の受け入れに努めるとともに、平成22年度から退院支援調整室を設置し退院支援等を実施している。

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
退院支援計画書作成件数	64	62	126	106	100
介護支援連携指導件数	85	72	94	80	54

(7) 結核医療連携拠点病院の指定

平成25年2月に岡山県から結核診療連携拠点病院に指定され、結核患者への高度医療提供、研修会の開催、医療機関からの相談等を行っている。

相談件数

(件)

相談機関	25年度	26年度
病院	6	31
診療所	1	6
高齢者施設		3
保健所		5
大学、学校		1
その他		8
計	7	54

※25年度は10月から

(8) 指導・相談

1) 医療相談

医療ソーシャルワーカーを中心に、入院相談や退院支援を行うとともに、地域医療機関や老健・介護保健施設との連携に努めている。

また、患者サポート体制の充実に取り組み、入院、外来患者の心理的・経済的な相談・支援に取り組んでいる。

2) 服薬指導

薬剤師が正しい薬の知識をわかりやすく説明している。また、症状にあった正しい服薬について指導を行っている。

3) 栄養指導

管理栄養士が個人の病状にあった、実行可能で長続きする食事療法の指導を行っている。

服薬・栄養指導件数

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
服薬指導	623	585	558	545	702
栄養指導	218	353	339	381	527

(9) 財団各部門との連携

人間ドック、保健部、南部健康づくりセンターと連携し、地域住民の生活習慣病予防対策に取り組んでいる。

また、糖尿病教室を開催し、地域の方々の健康づくりに取り組んでいる。

	開催日	参加者数	講演内容
第6回	26. 7. 12	24人	<ul style="list-style-type: none"> ・やっぱりコワイよ！合併症 ・糖尿病と付き合うために～療養で大切なこと～
第7回	26. 11. 22	20人	<ul style="list-style-type: none"> ・今日から始めるロコモ予防 ・どうしていますか？食事療法
第8回	27. 3. 14	17人	<ul style="list-style-type: none"> ・検査データの見かたを知ろう ・糖尿病薬の基礎知識～知っておきたい薬のこと～

(10) 難病相談・支援事業

岡山県から「岡山県難病相談・支援センター業務」を受託し（平成16年10月～）、難病患者やその家族からの療養上の悩みや不安、就労等に関する相談に対応している。

相談件数

(件)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
電話相談	591	736	819	955	799
面接相談	167	182	196	199	146
メール相談	87	120	208	165	114
合計	845	1,038	1,223	1,319	1,059

交流会、研修会の開催

定例患者交流会等（平成22年度 29回、平成23年度 28回、平成24年度 28回、平成25年度 29回、平成26年度 29回）

(参考資料)

年度別外来受診・健診の状況

26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,480	1,556	1,754	1,891	1,496	1,647	2,111	1,896	1,932	1,477	1,510	1,666	20,416
受診	1,118	1,133	1,154	1,208	1,082	1,137	1,359	1,103	1,268	1,212	1,146	1,192	14,112
健診	362	423	600	683	414	510	752	793	664	265	364	474	6,304

25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,536	1,644	1,697	1,887	1,571	1,625	2,033	2,108	1,803	1,410	1,418	1,504	20,236
受診	1,139	1,137	1,108	1,198	1,003	1,060	1,246	1,189	1,240	1,127	1,063	1,142	13,652
健診	397	507	589	689	568	565	787	919	563	283	355	362	6,584

24年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,514	1,761	1,869	1,808	1,783	1,778	2,141	2,169	1,865	1,494	1,441	1,465	21,088
受診	1,090	1,169	1,163	1,173	1,180	1,172	1,339	1,231	1,218	1,156	1,055	1,098	14,044
健診	424	592	706	635	603	606	802	938	647	338	386	367	7,044

23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,507	1,961	2,030	2,001	1,949	1,981	2,106	2,326	1,923	1,479	1,609	1,595	22,467
受診	1,119	1,256	1,287	1,265	1,253	1,248	1,318	1,361	1,316	1,170	1,246	1,177	15,016
健診	388	705	743	736	696	733	788	965	607	309	363	418	7,451

22年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	1,686	1,795	2,037	1,964	1,778	1,903	2,142	2,273	1,854	1,470	1,432	1,665	21,999
受診	1,172	1,161	1,183	1,247	1,114	1,231	1,333	1,272	1,214	1,103	1,096	1,261	14,387
健診	514	634	854	717	664	672	809	1,001	640	367	336	404	7,612

※検診件数には集検未受診を含む。

年度別入院患者数の状況

26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	75.2	68.5	74.0	72.7	71.5	72.5	66.8	72.5	67.0	73.4	76.4	68.8	71.5
結核	8.6	8.5	8.8	11.5	11.9	10.8	8.7	11.0	15.3	15.9	13.1	10.8	11.2
一般	31.8	28.6	31.2	27.7	28.0	30.8	26.3	30.0	25.3	29.5	30.6	28.2	29.0
療養	34.8	31.4	34.0	33.5	31.6	30.9	31.8	31.5	26.4	28.0	32.7	29.8	31.3

25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	68.0	70.3	74.5	69.7	71.8	79.1	80.1	72.8	68.7	71.6	73.1	72.8	72.7
結核	6.2	6.7	10.8	10.7	9.1	12.1	12.0	12.0	8.6	11.0	9.4	7.5	9.7
一般	26.6	29.8	29.0	24.4	29.1	30.7	31.2	24.7	25.8	28.3	31.8	29.8	28.4
療養	35.2	33.8	34.7	34.6	33.6	36.3	36.9	36.1	34.3	32.3	31.9	35.5	34.6

24年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	76.8	74.8	73.2	71.5	76.2	79.4	78.5	71.8	72.4	69.8	70.9	71.5	73.9
結核	8.6	8.4	9.2	8.8	12.3	11.4	12.5	7.5	6.3	5.7	6.1	6.4	8.6
一般	31.8	29.3	25.5	25.4	27.0	30.5	28.3	26.8	29.2	27.7	29.4	28.8	28.3
療養	36.4	37.1	38.5	37.4	36.9	37.5	37.7	37.5	36.9	36.4	35.4	36.4	37.0

23年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	81.5	74.6	73.9	80.6	79.3	74.7	69.6	67.2	75.8	74.8	75.6	77.1	75.4
結核	11.8	11.0	11.1	14.4	12.8	9.1	8.7	7.5	8.5	9.0	10.0	8.9	10.2
一般	31.5	28.4	27.7	28.6	29.8	29.9	26.5	27.0	30.1	27.3	28.6	31.6	28.9
療養	38.2	35.2	35.1	37.6	36.7	35.6	34.4	32.8	37.2	38.5	37.0	36.5	36.2

22年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	76.5	79.5	80.1	82.8	81.0	81.0	74.9	73.6	76.1	77.4	80.2	83.6	78.9
結核	5.7	9.2	12.4	16.2	14.5	10.5	8.9	6.6	6.4	8.4	10.4	11.9	10.1
一般	34.7	33.9	31.9	30.9	30.5	32.6	29.7	29.7	32.1	31.9	32.6	33.0	32.0
療養	36.1	36.5	35.8	35.7	36.0	37.9	36.3	37.3	37.6	37.1	37.2	38.7	36.8

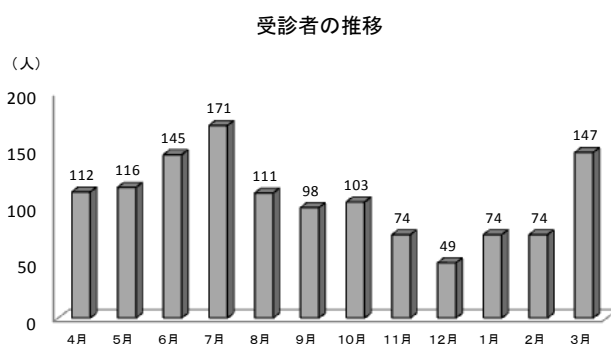
5 南部健康づくりセンター

(1) 健康増進部門

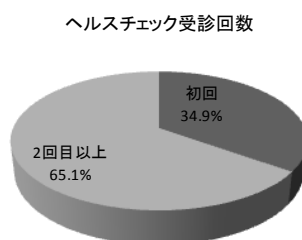
1. ヘルスチェックの状況

1) 受診者の推移

ヘルスチェック受診者は年間 1,274 人、1 カ月平均 106 人であった。前年度と比較すると、受診者数は 22 人の減少となった。

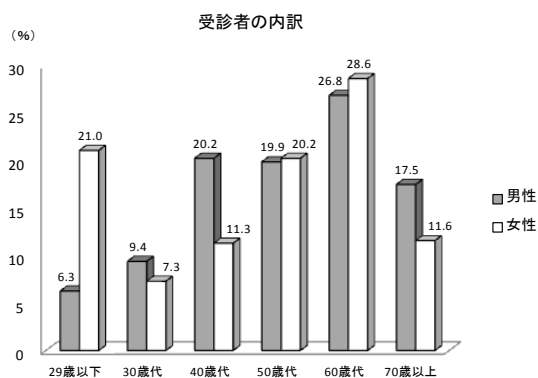


ヘルスチェックの受診回数は、初回が 34.9%、2 回目以上が 65.1%であった。

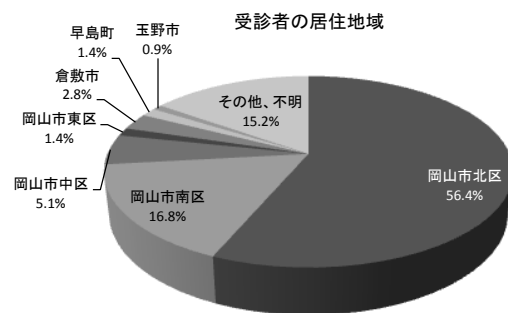


2) 受診者の内訳

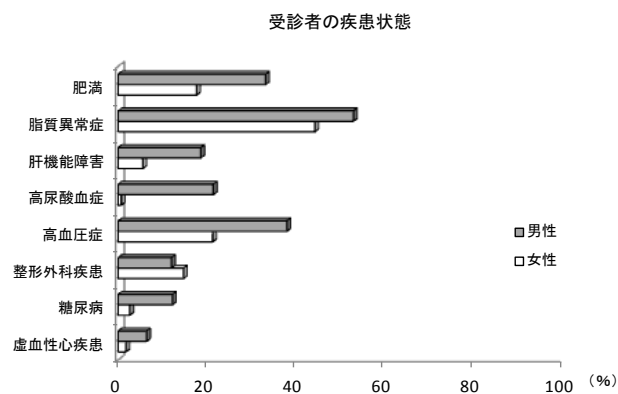
ヘルスチェック受診者の内訳を性別で見ると男性が 42.8%、女性が 57.2%であった。年代別で見ると男性、女性ともに 60 歳代が最も多かった。



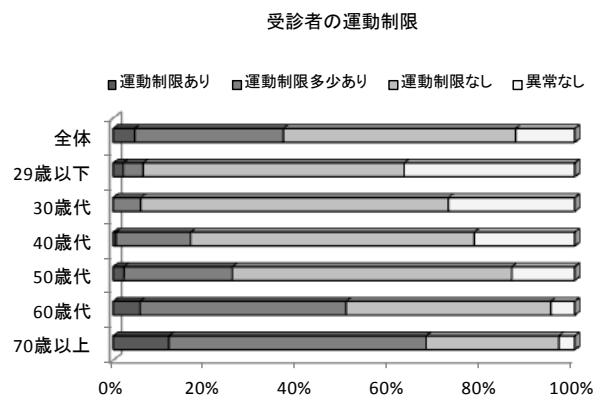
ヘルスチェック受診者の居住地を市町村別にみると、全受診者のうち 79.7%が岡山市に在住し、ついで倉敷市、早島町、玉野市の順に多かった。



受診者の疾患状態をみると、男女ともに脂質異常症が最も多かった。男性では脂質異常症、高血圧症、肥満、高尿酸血症の順で、女性では、脂質異常症、高血圧症、肥満、整形外科疾患の順で続いた。

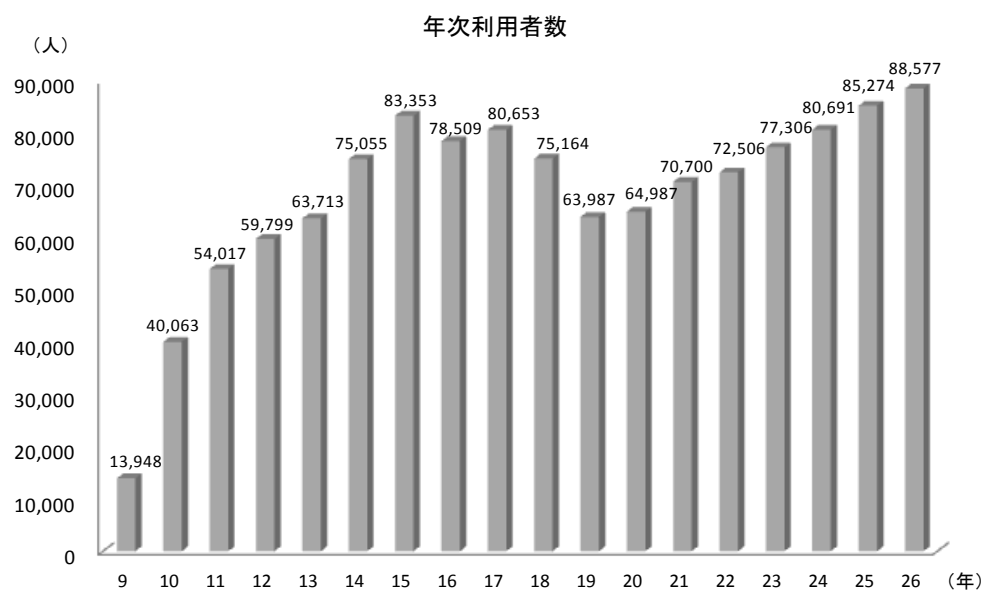
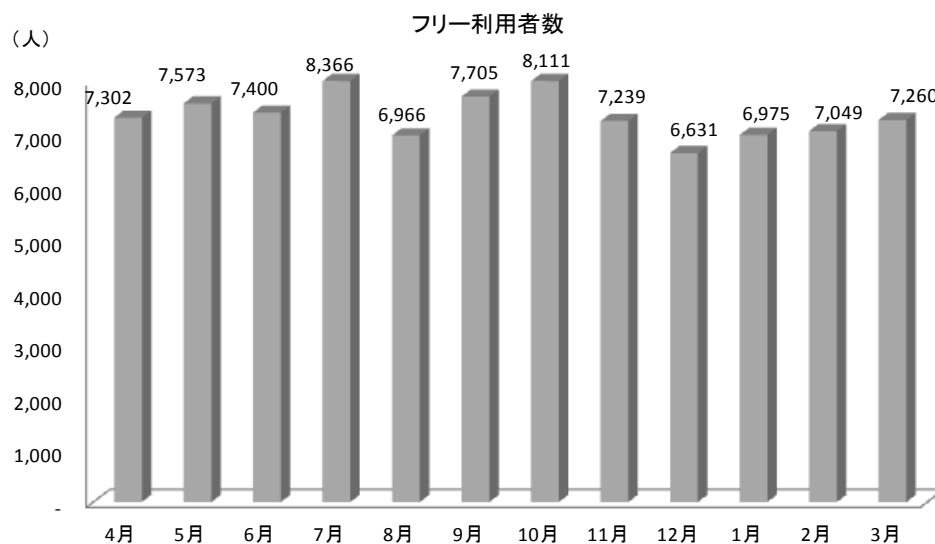


運動制限の程度をみると、何らかの運動制限のあった人は全体では 36.9%であったが、60 歳代では 50.5%、70 歳以上では 67.8%であった。



2. 施設自由（フリー）利用状況

施設フリー利用者数は年間 88,577 人、1 ヶ月平均 7,381 人、1 日平均 291 人であった。
前年度と比較すると、年間利用者数は 3,303 人の増加となった。



3. お手軽教室

1) 教室内容

平成 26 年度は、計 79 教室を開講した。

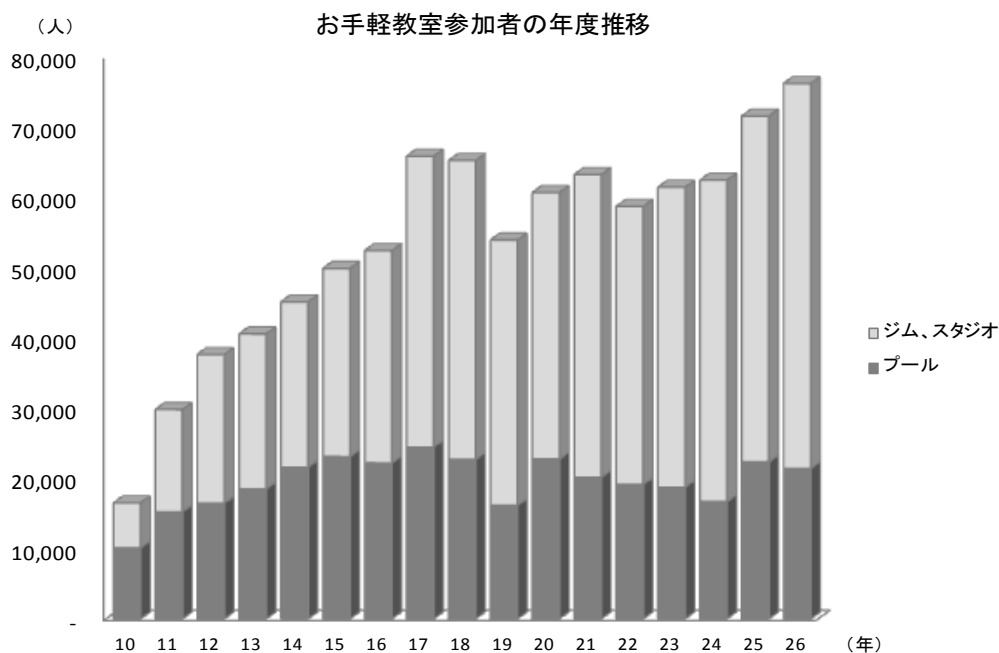
週あたりのお手軽教室開講数（平成 26 年 11 月現在）

水泳	超初級	2
	初級（週の泳法）	3
	初級（平泳ぎ or バタフライ）	1
	初中級（週の泳法）	2
	初中級（クロール or 背泳ぎ）	1
	中級（週の泳法）	1
	中級（平泳ぎ or バタフライ）	1
	中上級（週の泳法）	2
	中上級（インターバル）	2
	ステップアップ四泳法中上級	1
	レッツ四泳法中上級	1
	上級（週の泳法）	1
	スキルアップ四泳法上級	1
	水中運動	膝腰ゆっくり水中運動
膝腰スッキリ水中運動		1
ひきしめ水中運動		1
アクアサーキット		1
アクアビクス		3
エンジョイアクア		1
エアロビックダンス	フラエアロ	1
	かんたんエアロ	3
	やさしいエアロ	3
	ちょっとがんばるエアロ	3
	オリジナルエアロ	2
	なかなかエアロ	2
	がんばるエアロ	2
	ジム	ラジオ体操
ゆっくりボール		1
すっきりストレッチ		1
スッキリ体操		1

ジム	肩スッキリ体操	1
	ダンベル体操	1
	すわって健脚ストレッチ	1
	すわって健脚体操	1
	すわってスッキリ体操	1
	すわってルンルンビクス	1
	おまかせマット	1
	元気健脚サーキット	1
	やさしいステップ	1
	シンプルステップ	1
	ひきしめステップ	1
	エンジョイステップ	1
	オリジナルステップ	1
	ひきしめボディ	2
	シェイプサーキット	1
太極拳	はじめての太極拳	1
	太極拳	1
その他	ストレッチポール	1
	マットオリジナル	1
	ストレッチヨガ	1
	オリジナルヨガ	1
	リフレッシュヨガ	1
	パワーヨガ	1
	シェイプヨガ	1
	ピラティス or ポルドブラ	1
	ピラティス	1
	エンジョイフラ	1
	インスピレボリユーション	1
	デュエルボクシング	1
	ズンバ	1

2) 参加者の推移

お手軽教室の延べ参加者数は、76,299人で過去最高の参加者数であった。プール教室の延べ参加者数は21,442人と、全体の約3割であった。



4. 健康実践講座

1) 健康セミナー

健康実践教室

身近な病気をわかりやすく楽しく学べる教室として、医師と管理栄養士が、講義や実習、試食会などを実施した。1回90分の教室で、延べ22人の参加があった。

実施日	テーマ	参加人数 (人)
平成26年7月16日	高血圧症 ～動脈硬化測定をしよう～ 医師の話：何がコワイの高血圧!?目標血圧ってどのくらい? 栄養士の話：減塩でおいしい食事の話 (減塩レシピ・試食)	3

実施日	テーマ	参加人数 (人)
平成 26 年 9 月 17 日	糖尿病～血糖値を測定してみよう～ 医師の話：糖尿病ってどんな病気？ 栄養士の話：糖尿病を予防する食事の話 (ヘルシーレシピ・試食)	4
平成 26 年 11 月 19 日	脂質異常症～検診結果をみてみよう～ 医師の話：コレステロールや中性脂肪が 高いとどうなるの？ 栄養士の話：コレステロールや中性脂肪 を下げる食事のコツ (レシピ紹介・試 食)	11
平成 26 年 12 月 19 日	ドクターに聞いてみよう！女性の病気あ れこれ～乳がん～ (管理栄養士の手作りお菓子とハーブテ ィー付き)	4

マラソンセミナー

マラソン元日本代表の山口衛里コーチによるマラソンセミナーを開催した。全 8 回コースのマラソンセミナーを 5 回、単発のマラソンセミナーを 1 回開催した。参加者数は、毎回ほぼ定員に達した。コースおよび単発のマラソンセミナーを合わせて、延べ 145 人の参加があった。

【コース開催】

マラソン大会で完走しよう♪マラソンセミナー

平成 26 年 4 月 10 日～5 月 29 日 (全 8 回)	19:20～20:30	毎週木曜日	22 人
平成 26 年 6 月 19 日～8 月 7 日 (全 8 回)	19:20～20:30	毎週木曜日	24 人
平成 26 年 9 月 4 日～10 月 23 日 (全 8 回)	19:20～20:30	毎週木曜日	27 人
平成 26 年 11 月 6 日～12 月 25 日 (全 8 回)	19:20～20:30	毎週木曜日	27 人
平成 27 年 1 月 8 日～2 月 26 日 (全 8 回)	19:20～20:30	毎週木曜日	27 人

【単発開催】

マラソンセミナー ～マラソン大会に向けて～

平成 26 年 8 月 21 日	19:20～20:30	木曜日	18 人
------------------	-------------	-----	------

2) 健康づくり栄養講座

調理実習と健康に関する講話により、正しい情報の提供と健康に関する知識の普及を行いながら食生活の改善を図るとともに、旬の食材の良さや季節の料理を伝える場として健康づくり栄養講座を開催した。また、お菓子作りの技術や目新しいおもてなしメニューを学ぶ場として外部講師による料理教室を開催した。

健康づくり栄養講座は、前期 30 回、後期 30 回の開催で、延べ 605 人参加者があった。外部講師による料理教室は、全 9 回の開催で延べ 65 人の参加があった。

健康づくり栄養講座

前期

実施日	テーマ	内容	参加人数(人)	
平成26年4月16日	かんたん懐石料理	痛風予防の話	13	
平成26年4月23日			12	
平成26年5月21日	ヘルシー中華料理	腎臓病予防の話	10	
平成26年5月28日			10	
平成26年6月18日	かんたんフランス料理	肝臓病予防の話	15	
平成26年6月25日			6	
平成26年7月16日	ヘルシーイタリアン	がん予防の話	17	
平成26年7月23日			7	
平成26年8月20日	野菜いっぱいエスニック料理	便秘予防の話	15	
平成26年8月27日			3	
平成26年9月10日	精進料理	サプリメントの話	12	
平成26年9月17日			10	
平成26年4月9日	初心者のための栄養講座	鯖のみそ煮	5	
平成26年4月19日			10	
平成26年5月14日		麻婆豆腐	10	
平成26年5月31日			10	
平成26年6月11日		豆腐ハンバーグ	12	
平成26年6月21日			8	
平成26年7月9日		魚の照り焼き	10	
平成26年7月19日			4	
平成26年8月6日		中華丼	9	
平成26年8月23日			7	
平成26年9月3日		ラザニア	8	
平成26年9月13日			11	
平成26年4月17日		簡単ヘルシースイーツ&ハーブティー	和菓子①&ハーブティー	11
平成26年5月22日			洋菓子①&ハーブティー	12
平成26年6月12日			野菜&果物のお菓子①&ハーブティー	10
平成26年7月10日			和菓子②&ハーブティー	13
平成26年8月21日	洋菓子②&ハーブティー		14	
平成26年9月11日	野菜&果物のお菓子②&ハーブティー		13	

後期

実施日	テーマ	内容	参加人数(人)	
平成26年10月15日	秋の和御膳	骨粗鬆症予防の話	15	
平成26年10月22日			10	
平成26年11月19日	クリスマス料理	デトックスについて	20	
平成26年11月26日			4	
平成26年12月10日	おせち料理	冬野菜の効能	17	
平成26年12月17日			8	
平成27年1月21日	韓国料理	風邪を予防しよう！	13	
平成27年1月28日			5	
平成27年2月18日	ひな祭りの料理	動脈硬化を予防しよう！	15	
平成27年2月25日			4	
平成27年3月18日	お花見弁当	春野菜の効能	10	
平成27年3月25日			9	
平成26年10月8日	初心者のための栄養講座	基本の和食①	7	
平成26年10月25日			12	
平成26年11月12日		基本の中華①	6	
平成26年11月29日			12	
平成26年12月3日		基本の洋食①	7	
平成26年12月13日			11	
平成27年1月14日		基本の和食②	6	
平成27年1月24日			9	
平成27年2月4日		基本の中華②	7	
平成27年2月28日			10	
平成27年3月11日		基本の洋食②	12	
平成27年3月28日			8	
平成26年10月9日		簡単ヘルシースイーツ&ハーブティー	和菓子①&ハーブティー	15
平成26年11月13日			洋菓子①&ハーブティー	10
平成26年12月18日			野菜&果物のお菓子①&ハーブティー	10
平成27年1月15日			和菓子②&ハーブティー	8
平成27年2月19日	洋菓子②&ハーブティー		9	
平成26年3月19日	野菜&果物のお菓子②&ハーブティー		9	

外部講師による料理教室

「ナチュラルフードでデトックス」～心も体も健康に～

実施日	内容	参加人数 (人)
平成26年5月23日	グリーンスムージー、アルファルファの海苔巻き、アーモンドパテのカナッペ、野菜たっぷりサラダ×大根ドレッシング、ドライフルーツボール	11
平成26年6月27日	グリーンスープ、薄餅×はちみつ鶏&野菜の千切り、エビ×ふわとろの豆腐、ほうれん草とマッシュルームのバイクドチーズケーキ	9
平成26年7月25日	季節の果物と野菜のスムージー、野菜たっぷりのミネストローネ、枝豆とチキンのマカロニサラダ、豆腐サラダ	9

基本のケーキ&ブランチ

実施日	内容	参加人数 (人)
平成26年9月26日	バイクドチーズケーキ	11
平成26年10月24日	カトルカール (レモン風味)	5
平成26年11月28日	クリスマスデコレーションケーキ	5

簡単お菓子&ブランチ

実施日	内容	参加人数 (人)
平成27年1月23日	ショコラ・オ・フランボワーズ	3
平成27年2月27日	いちごのレアチーズケーキ (お雛様バージョン)	6
平成27年3月27日	オレンジケーキ	6

3) リラクゼーションセミナー

リンパマッサージのテーマで外部講師を招き、前期は6回、後期は6回実施した。各セミナーとも90分間で、テーマに沿った講話やリラクゼーション実技を行った。

全12回の開催で、延べ203人の参加があったが、女性の参加が多く、年齢は20歳代～80歳代と幅広かった。

前期

日時	テーマ	内容	参加人数 (人)
4月24日	足のリンパマッサージその1	足のリンパマッサージ	18
5月29日	足のリンパマッサージその2	足のリンパマッサージ	18
6月26日	手のリンパマッサージその1	手のリンパマッサージ	19
7月24日	手のリンパマッサージその2	手のリンパマッサージ	23
8月28日	顔のリンパマッサージその1	顔のリンパマッサージ	20
9月25日	顔のリンパマッサージその2	顔のリンパマッサージ	19

後期

日時	テーマ	内容	参加人数 (人)
10月23日	足のリンパマッサージその1	足のリンパマッサージ	11
11月14日	足のリンパマッサージその2	足のリンパマッサージ	11
12月11日	手のリンパマッサージその1	手のリンパマッサージ	16
1月16日	手のリンパマッサージその2	手のリンパマッサージ	15
2月12日	顔のリンパマッサージ	顔のリンパマッサージ	18
3月20日	お楽しみマッサージ	全体のまとめ	15

4) 健康増進指導体験

年間の利用件数は1件、利用者数は22人であった。

開催日	参加団体名	コース	参加人数 (人)
平成26年11月12日 (水)	井原市役所(愛育委員)	休養	22

(2) 教育・研修部門

1. 派遣事業

年間を通して63件の派遣依頼を受託した。

実施日	依頼先	会(題名)	内容	参加人数(人)	派遣者
平成26年4月26日	岡山県看護協会新見支部	平成26年度岡山県看護協会新見支部 集会並びに研修会	「心と身体のリフレッシュ」	25	森下 明志
平成26年5月20日	中国電力備前山支社	年代別健康づくり教育		60	斉藤 剛
平成26年5月29日	アイカ備前山工場	健康セミナー		20	豊田 加奈子
平成26年7月25日	特別擁護老人ホーム 喜福園	腰痛予防体操		35	高槻 祐子
平成26年7月29日	公立学校共済組合岡山支部	職場の健康づくり研修会支援事業	腰痛予防研修会	19	斉藤 剛
平成26年8月19日	備前県民局	健康セミナー		30	国橋 由美子
平成26年8月28日	岡山県難病相談・支援センター	患者交流会	栄養講座	10	国橋 由美子
平成26年10月1日	アイカ備前山工場	腰痛予防・肩こり予防の運動セミナー		30	高槻 祐子

実施日	依頼先	会(題名)	内容	参加人数(人)	派遣者		
平成26年10月10日	赤松市	赤松市運動教室	「ストレッチとウォーキング」	40	森下 明恵		
平成26年10月15日	水島産業医学研究会	産業医学研究会例会	講演「健康づくりのための運動指導」	15	森下 明恵		
平成26年10月29日	岡山県栄養改善協議会	平成26年度岡山県栄養改善協議会研修会	講演「糖尿病の予防と栄養委員への期待」	90	發坂 耕治		
平成26年11月2日	岡山県医師会	産業医研修会(特定検診・特定保健指導研修会)	講演「健康づくりのための栄養指導」	100	豊田 加奈子		
平成26年11月11日	岡山市福祉相談センター	平成26年度健康管理セミナー	メタボリック対策(食生活の見直し)	9	国橋 由美子		
平成26年11月18日	岡山県備中県民局井笠地域事務所	健康管理セミナー	「太るもやせるも食事次第」「いきいきと働くために」	20	国橋 由美子 後藤 礼子		
平成26年11月22日	岡山県健康づくり財団附属病院	第7回糖尿病教室	世界糖尿病デーによって～食事と運動の知恵袋～「今日からはじめるロコモ予防」	20	斉藤 剛		
平成26年11月22日	公益財団法人 岡山県看護協会	平成26年度「個人会員の集い」	軽体操でリフレッシュ	15	斉藤 剛		
平成26年12月4日	岡山県立真庭高等学校	健康料理調理実習	健康料理の作り方伝授『簡単!薬膳料理』	27	豊田 加奈子		
平成27年1月8日	岡山県難病相談・支援センター	患者交流会	ボールでにこにこ体操	10	高橋 卓也		
平成26年1月20日	備前市	健康づくり教室	講話・運動指導「HbA1cを減らすための運動のコツ」 「運動を継続するためのポイント」	25	山下 裕絵		
平成27年2月12日	岡山県難病相談・支援センター	患者交流会	栄養講座	10	豊田 加奈子		
平成27年2月23日	総社市	生活習慣病予防講演会	講演「年をとっても健やかに楽しく生きるコツ」	100	發坂 耕治		
平成27年2月25日	備前市吉永地区老人クラブ連合会	健康体操講習会		60	森下 明恵		
平成27年3月12日	岡山市栄養改善協議会	平成26年第2回岡山市栄養改善協議会 学区・地区会長研修会	講演「地域で取り組む高血圧対策」	100	發坂 耕治		
平成26年5月21日	阪巴高齢者体操クラブ	高齢者体操		17	高槻 祐子		
平成26年8月20日				17	高橋 卓也		
平成26年11月19日				17	高槻 祐子		
平成27年2月18日				17	高槻 祐子		
平成26年5月8日				7	高橋 卓也		
平成26年5月15日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	7	豊田 加奈子		
平成26年5月22日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	12	高橋 卓也		
平成26年5月29日			おいしく食べてメタボ予防	5	国橋 由美子		
平成26年6月5日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	11	高橋 卓也		
平成26年6月5日			おいしく食べてメタボ予防	5	豊田 加奈子		
平成26年6月12日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	5	高橋 卓也		
平成26年6月19日			ストレスとこころの健康	12	後藤 礼子		
平成26年6月26日			おいしく食べてメタボ予防	13	国橋 由美子		
平成26年7月3日			おいしく食べてメタボ予防	8	豊田 加奈子		
平成26年7月17日			おいしく食べてメタボ予防	12	国橋 由美子		
平成26年9月18日	公益財団法人 岡山県建設技術センター	出前健康教室	かんたん体力測定とリフレッシュ体操	12	高橋 卓也		
平成26年10月2日			おいしく食べてメタボ予防	14	豊田 加奈子		
平成26年10月2日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	8	高橋 卓也		
平成26年10月9日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	20	高橋 卓也		
平成26年10月16日			ストレスとこころの健康	9	後藤 礼子		
平成26年10月23日			おいしく食べてメタボ予防	19	豊田 加奈子		
平成26年10月30日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	14	高橋 卓也		
平成26年10月30日			ストレスとこころの健康	12	後藤 礼子		
平成26年11月6日			おいしく食べてメタボ予防	14	国橋 由美子		
平成26年11月13日			かんたん体力測定とリフレッシュ体操	9	高橋 卓也		
平成26年11月20日			ストレスとこころの健康	10	後藤 礼子		
平成26年11月27日			おいしく食べてメタボ予防	4	国橋 由美子		
平成26年9月17日			和気町	和気町健康教室	「高齢者の運動」	60	高槻 祐子 斉藤 剛
平成26年9月26日							
平成26年10月15日	岡山県老人クラブ連合会	平成26年度(第39次)岡山県老人福祉大学		250	森下 明恵		
平成26年10月17日				220			
平成26年10月22日				230			
平成26年10月29日				200			
平成26年10月24日	地方職員共済組合岡山県支部支部長	健康づくりチャレンジコンテスト2014	出前ウォーキング講座	20	斉藤 剛		
平成26年10月31日				20	斉藤 剛		
平成26年11月5日				20	高槻 祐子		
平成26年11月11日				20	斉藤 剛		
平成26年11月12日				20	高槻 祐子		
平成27年1月14日	備前市	特定保健指導(積極的支援・動機づけ支援)1回目	講話・運動指導「やせる体操」	20	高槻 祐子		
平成27年2月6日				特定保健指導(積極的支援・動機づけ支援)2回目	20	斉藤 剛	

2. 図書資料室

一般書から専門書まで健康に関する図書約5,300冊、ビデオ約50本が閲覧できる。

平成17年9月から3階にある図書資料室より一般向けの図書、ビデオを一部おろし、1階有料ゾーンに閲覧、貸し出しができるように書庫を配置した。また平成26年12月より、蔵書の多くを1階健康増進施設のロビーに降ろし、「沼田文庫」と称した。それにより図書の閲覧が増え、貸し出し件数も増加した。貸し出しを受けた人数、貸し出された図書の冊数は、1年間で114人、199冊の利用があった。

3. 大会議室・小会議室・栄養指導室・多目的聴講室

1) 大会議室

貸し出し件数は、年間26件であった。

2) 小会議室

貸し出し件数は、年間90件であった。

3) 栄養指導室

貸し出し件数は、年間46件であった。

4) 多目的聴講室

貸し出し件数は、年間25件であった。

4. 研究室の開放

貸し出し件数は、年間2件であった。

(3) 調査・研究部門

1. 業績

1) 論文

ア 熱中症と気温との関連に関する生態学的研究

土海一美、齊藤 剛ほか（日本予防医学会雑誌 9: 37-39, 2014.）

イ Relationship between peak oxygen uptake and regional body composition in Japanese subjects

Kanae Oda, Takeshi Saito, Takeyuki Numata et.al（Journal of Sport and Health Science 3: 233-238, 2014.）

ウ 温水プールの室内環境～利用者と施設スタッフの視点から～

齊藤剛、宮武伸行ほか（地域環境保健福祉研究 17: 1-3, 2014.）

2) 研究助成

ア 健康づくりのための運動基準・運動指針改定ならびに普及・啓発に関する研究

主任研究者 宮地元彦（独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

分担研究者 佐々木佐起子（岡山県南部健康づくりセンター）

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）

イ 現在の健康状態に及ぼす出生時体重と出生後の生活習慣の影響

主任研究者 田中茂穂（独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

分担研究者 関 明穂（岡山県南部健康づくりセンター）

日本学術振興会 科学研究費補助金・特別研究員奨励費

(4) スポーツ医科学部門

1. 受診者数およびその内訳

ファジアーノ岡山（サッカー）の44人が筋力測定を受けた。興譲館高校（女子陸上部 長距離）の1人が運動負荷試験の測定を受けた。

(5) 健康診断（人間ドック）部門

1. 人間ドック

1) 受診者の内訳

年間で8,876件(男性5,589人、女性3,208人、計8,798人)の受診があり、前年度比105.0%の受診者数となった。

2) 検査項目別

部位・臓器・検査方法別の検査結果を以下に示す。

なお、現在医療機関でそれぞれの検査項目に関して治療中か経過観察中のものを「治療中」とした。それ以外のもののうち、検査項目内の結果がすべて正常であったものを「異常なし」、いずれかの検査結果が正常範囲からはずれているが問題ない範囲のものを「有所見」、経過観察が必要なものを「要観察」、医療機関での精密検査あるいは治療を要するものをそれぞれ「要精検」「要治療」とした。

また、「異常なし」「有所見」以外のものをまとめて「要観察以上」、検診によって新たに医療を要することが指摘された「要精検」「要治療」をまとめて「要医療」とし、各検査項目の受診者全体に対する「要観察以上」「要医療」のものの割合を算出した。

① 肥満度

BMI18.5未満を低体重、18.5以上25.0未満を普通体重、25.0以上30.0未満を肥満1度、30.0以上35.0未満を肥満2度、35.0以上40.0未満を肥満3度、40.0以上を肥満4度とした。

肥満1度以上のものは男性1931人(34.7%)、女性507人(18.2%)であった。

	受診者数	低体重	普通体重	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
		-18.49	18.5-24.9	25.0-29.9	30-34.9	35-39.9	40-
男性(人)	5560	158 (2.9%)	3471 (62.4%)	1604 (28.8%)	273 (4.9%)	45 (0.8%)	9 (0.2%)
女性(人)	2788	357 (12.8%)	1924 (69.0%)	391 (14.0%)	94 (3.4%)	17 (0.6%)	5 (0.2%)

② 血圧

収縮期血圧134mmHg以下、拡張期血圧85mmHg以下を正常値、収縮期血圧139mmHg以下、拡張期血圧89mmHg以下を参考基準値とし、「治療中」ではないもので収縮期血圧、拡張期血圧ともに正常値であるものを「異常なし」、いずれかが正常値を超えるものの参考基準値は超えないものを「有所見」とした。

男性の1,422人(25.6%)、女性の349人(12.5%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性938人(16.9%)、女性229人(8.2%)、「要医療」のものは男性140人(2.5%)、女性28人(1.0%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5550	3664 (66.0%)	464 (8.4%)	344 (6.2%)	0 (0.0%)	140 (2.5%)	938 (16.9%)
女性(人)	2782	2292 (82.4%)	141 (5.1%)	92 (3.3%)	0 (0.0%)	28 (1.0%)	229 (8.2%)

③ 心電図

男性の 568 人 (10.2 %)、女性の 142 人 (5.1 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 148 人 (2.7 %)、女性 22 人 (0.8 %)、「要医療」のものは男性 46 人 (0.8 %)、女性 10 人 (0.4 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5543	4233 (76.4%)	742 (13.4%)	374 (6.7%)	42 (0.8%)	4 (0.1%)	148 (2.7%)
女性(人)	2773	2346 (84.6%)	285 (10.3%)	110 (4.0%)	10 (0.4%)	0 (0.0%)	22 (0.8%)

④ 検尿

男性の 1,213 人 (21.9 %)、女性の 1,118 人 (40.3 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 59 人 (1.1 %)、女性 18 人 (0.6 %)、「要医療」のものは男性 137 人 (2.5 %)、女性 44 人 (4.0 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5545	3513 (63.4%)	819 (14.8%)	1017 (18.3%)	92 (1.7%)	45 (0.8%)	59 (1.1%)
女性(人)	2773	1132 (40.8%)	523 (18.9%)	1056 (38.1%)	37 (1.3%)	7 (0.3%)	18 (0.6%)

⑤ 肝機能

男性の 2,292 人 (41.3 %)、女性の 465 人 (16.8 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 135 人 (2.4 %)、女性 28 人 (1.0 %)、「要医療」のものは男性 490 人 (8.8 %)、女性 86 人 (3.1 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5545	2186 (39.4%)	1067 (19.2%)	1667 (30.1%)	393 (7.1%)	97 (1.7%)	135 (2.4%)
女性(人)	2773	1841 (66.4%)	467 (16.8%)	351 (12.7%)	74 (2.7%)	12 (0.4%)	28 (1.0%)

⑥ 脂質異常症

男性の 4,410 人 (79.5 %)、女性の 1,848 人 (66.6 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 737 人 (13.3 %)、女性 265 人 (9.6 %)、「要医療」のものは男性 571 人 (10.3 %)、女性 230 人 (8.3 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5544	977 (17.6%)	157 (2.8%)	3102 (56.0%)	0 (0.0%)	571 (10.3%)	737 (13.3%)
女性(人)	2774	760 (27.4%)	166 (6.0%)	1353 (48.8%)	1 (0.0%)	229 (8.3%)	265 (9.6%)

⑦ 耐糖能異常

男性の 2,967 人 (53.5 %)、女性の 1,018 人 (36.7 %) が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性 427 人 (7.7 %)、女性 60 人 (2.2 %)、「要医療」のものは男性 193 人 (3.5 %)、女性 26 人 (0.9 %) であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5544	2575 (46.4%)	2 (0.0%)	2347 (42.3%)	99 (1.8%)	94 (1.7%)	427 (7.7%)
女性(人)	2774	1756 (63.3%)	0 (0.0%)	932 (33.6%)	12 (0.4%)	14 (0.5%)	60 (2.2%)

⑧ 尿酸

男性の1,691人(30.5%)、女性の41人(1.5%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性381人(6.9%)、女性4人(0.1%)、「要医療」のものは男性285人(5.1%)、女性9人(0.3%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5544	3849 (69.4%)	4 (0.1%)	1025 (18.5%)	0 (0.0%)	285 (5.1%)	381 (6.9%)
女性(人)	2773	2727 (98.3%)	5 (0.2%)	28 (1.0%)	0 (0.0%)	9 (0.3%)	4 (0.1%)

⑨ 血液一般

男性の738人(13.3%)、女性の591人(21.3%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性19人(0.3%)、女性51人(1.8%)、「要医療」のものは男性82人(1.5%)、女性141人(5.1%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5545	3486 (62.9%)	1321 (23.8%)	637 (11.5%)	72 (1.3%)	10 (0.2%)	19 (0.3%)
女性(人)	2773	1505 (54.3%)	677 (24.4%)	399 (14.4%)	33 (1.2%)	108 (3.9%)	51 (1.8%)

⑩ 超音波検査

腹部超音波検査により肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、脾臓等の検査を行った。

男性の1,917人(60.2%)、女性の758人(47.0%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性14人(0.4%)、女性12人(0.7%)、「要医療」のものは男性93人(2.9%)、女性38人(2.4%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	3183	769 (24.2%)	497 (15.6%)	1810 (56.9%)	93 (2.9%)	0 (0.0%)	14 (0.4%)
女性(人)	1612	624 (38.7%)	230 (14.3%)	708 (43.9%)	35 (2.2%)	3 (0.2%)	12 (0.7%)

⑪ 胸部X線検査

CR装置による直接撮影を行った。

男性の368人(6.6%)、女性の98人(3.6%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性50人(0.9%)、女性19人(0.7%)、「要医療」のものは男性170人(3.1%)、女性52人(1.9%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5539	4474 (80.8%)	697 (12.6%)	148 (2.7%)	169 (3.1%)	1 (0.0%)	50 (0.9%)
女性(人)	2736	2342 (85.6%)	296 (10.8%)	27 (1.0%)	51 (1.9%)	1 (0.0%)	19 (0.7%)

⑫ 胃部造影検査

DR 装置による直接撮影を行った。

男性の2,280人(43.5%)、女性の963人(39.0%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性22人(0.4%)、女性8人(0.3%)、「要医療」のものは男性243人(4.6%)、女性84人(3.4%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	5244	2522 (48.1%)	442 (8.4%)	2015 (38.4%)	237 (4.5%)	6 (0.1%)	22 (0.4%)
女性(人)	2471	1038 (42.0%)	470 (19.0%)	871 (35.2%)	80 (3.2%)	4 (0.2%)	8 (0.3%)

⑬ 骨密度検査

DXA 法により第2～第4腰椎正面の骨密度を測定した。

男性の11人(57.9%)、女性の189人(79.4%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性0人(0.0%)、女性28人(11.8%)、「要医療」のものは男性4人(21.1%)、女性26人(10.9%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	19	8 (42.1%)	0 (0.0%)	7 (36.8%)	4 (21.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
女性(人)	238	48 (20.2%)	1 (0.4%)	135 (56.7%)	25 (10.5%)	1 (0.4%)	28 (11.8%)

3) 婦人科検診

① 乳がん検診

乳がん検診として、視触診とマンモグラフィ、乳房超音波検査とを行った。

乳がん検診の総受診者数は1,897人であった。前年度に比べ256人の増加であり、乳がん検診の無料クーポン券配布による効果がまだ続いていると考えられた。また、マンモグラフィ受診者は1,552人であった。

乳がん検診受診者の189人(10.0%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは23人(1.2%)、「要医療」のものは120人(6.3%)であった。マンモグラフィも実施したものに限ると、84人(5.4%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは3人(0.2%)、「要医療」のものは75人(4.8%)であった。

乳がん検診	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1897	755 (39.8%)	953 (50.2%)	46 (2.4%)	120 (6.3%)	0 (0.0%)	23 (1.2%)
マンモグラフィ	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1552	577 (37.2%)	891 (57.4%)	6 (0.4%)	75 (4.8%)	0 (0.0%)	3 (0.2%)

② 子宮がん検診

子宮がん検診として、子宮頸部細胞診と婦人科診察、経膈超音波検査を行った。子宮頸部細胞診ではclass I、IIを正常とし、class IIIa以上を「要精検」とした。

子宮がん検診の受診者数は1,896人であった。

受診者の330人(17.4%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは25人(1.3%)、「要医療」のものは207人(10.9%)であった。また、子宮頸部細胞診でclass IIIa以上の「要精検」であったものは42人(2.2%)であった。

子宮がん検診	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
女性(人)	1896	1565 (82.5%)	1 (0.1%)	98 (5.2%)	144 (7.6%)	63 (3.3%)	25 (1.3%)
細胞診	受診者数	class I	class II	class IIIa	class IIIb	class IV	class V
女性(人)	1896	0 (0.0%)	1854 (97.8%)	34 (1.8%)	7 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)

2. 脳ドック

脳ドックの受診者数は294人(男性206人、女性88人)であった。

男性の19人(9.2%)、女性の8人(9.1%)が「要観察以上」であり、そのうち「治療中」のものは男性1人(0.5%)、女性0人(0.0%)、「要医療」のものは男性4人(1.9%)、女性5人(5.7%)であった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	206	95 (46.1%)	92 (44.7%)	14 (6.8%)	4 (1.9%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
女性(人)	88	43 (48.9%)	37 (42.0%)	3 (3.4%)	5 (5.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

3. らせんCT胸部検診

らせんCT胸部検診は、肺がんの早期発見に威力を発揮することが注目されて普及し、着実に受診者に浸透しつつある。今後も慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患の早期発見や、禁煙への動機づけにも有効であるため、普及啓発に今後とも力を注いでいくことが重要とされている。

らせんCT胸部検診の受診者数は250人(男性219人、女性31人)であった。

男性の44人(20.1%)、女性の4人(12.9%)が「要観察以上」であり、「要医療」のものは男性22人(10.0%)、女性2人(6.5%)であった。「治療中」のものはいなかった。

	受診者数	異常なし	有所見	要観察	要精検	要治療	治療中
男性(人)	219	47 (21.5%)	128 (58.4%)	22 (9.5%)	22 (10.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
女性(人)	31	2 (6.5%)	25 (80.6%)	2 (6.5%)	2 (6.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

6 普及啓発事業

(1) 財団の広報

ホームページの更新、広報誌の発行、他団体広報誌へ記事の提供等を通して、財団の広報に努めた。

1) 広報誌の発行

広報誌「健康と環境」を年4回発行し、事業の紹介と県民の健康づくり、環境保全に関する意識の高揚を図った。

- ・発行部数 第61号 15,000部 (4月30日発行)
第62号 15,000部 (7月31日発行)
第63号 15,000部 (10月31日発行)
第64号 15,000部 (1月31日発行)
- ・主要配布先 県、市町村、教育委員会、学校、警察署、保健所、近隣町内会、医師会、病院協会、福祉施設、事業所等

2) ホームページ更新

財団ホームページに、財団の事業紹介、健康情報・生活環境に関する情報提供、セミナーや教室の案内、各種行事の予定等を随時更新し、紹介した。

(2) 結核予防に関する事業

結核は、60年前までは、死亡原因の第一位であったが医療や生活水準の向上により、薬による完治が可能になった。しかし依然として岡山県においても年間300名前後の患者が発生する重大な感染症であることから啓発活動を行っている。

1) 広報・募金活動

結核予防思想の普及と事業資金確保のため世界中で行われている複十字シール運動(8月1日～12月31日)について、県、市町村及び岡山県愛育委員連合会の協力を得て、積極的に普及啓発活動及び募金活動を実施した。また結核予防週間(9月24日～30日)を中心に結核予防に関するポスター(2,700部)等の広報資材を、保健所、市町村、病院等を通じて広く県民に配布し啓発に努めた。

期間中の大規模な街頭活動として、9月27日イオンモール津山において、県や市、岡山県愛育委員連合会、岡山県診療放射線技師会と共催で街頭キャンペーンを行った。このキャンペーンでは、無料検診や結核撲滅の呼びかけを行うとともに、チラシ、ポケットティッシュ等の啓発資材(1,800組)を活用し募金を呼びかけた。

- ・募金額 2,401,830円（平成27年3月31日現在）
- ・募金の使途 胸部疾患予防思想の普及啓発事業

2) 知事表敬訪問

7月22日、全国一斉複十字シール運動開始にあたり、理事長が岡山県愛育委員連合会長とともに、知事を表敬訪問し運動への理解と協力を要請した。

(3) がん予防に関する事業

1) 「岡山対がんシンポジウム2014」の開催

6月7日、ピュアリティまきびにおいて岡山県・岡山県医師会・岡山県愛育委員連合会・岡山県看護協会との共催で、「あなたとあなたの大切な家族を守るために～女性のがんの克服をめざして～」をテーマに、岡山対がんシンポジウム2014を123名の参加のもと開催した。

2) 「がん征圧岡山県大会」の開催

9月2日、岡山衛生会館において岡山県、県医師会と共催で、「面倒？こわい？忙しい？言い訳しないで検診へ」をスローガンに、がん征圧岡山県大会を開催した。約600名の参加を得て、がん予防事業功労者への表彰や研究助成金の贈呈、がんやがん検診に関するシンポジウムなどがん予防に関する啓発活動を行った。

3) キャンペーン放送の実施

がん征圧月間中を中心に、テレビ・ラジオ放送において広報活動を行った。

4) その他の啓発活動

岡山の女子サッカークラブ「岡山湯郷 Belle」の協力を得て、女性のがん（乳がん・子宮頸がん）検診啓発のポスターを作成し、市町村・病院・大学等へ配布するなどがん予防の啓発に努めた

5) 募金

がん予防を推進するために協力を呼びかけ、685件4,121,125円の募金等を頂いた。

(4) 禁煙の普及啓発に関する事業（岡山県禁煙問題協議会）

1) 街頭キャンペーンの実施

5月31日の世界禁煙デーに、岡山駅、津山駅等で、県・市町村職員、愛育委員、禁煙アドバイザー等の協力を得て街頭活動を行い、啓発チラシ（19,758枚）、ポケットティッシュ（26,399個）を配布し、禁煙を呼びかけた。

2) ポスターコンクールの開催

県下の小学校4年生～6年生を対象に、禁煙啓発ポスターコンクールの作品を募集した。7校から83点の応募作品があり、入賞者8名を9月のがん征圧岡山県大会で表彰した。入賞作品を掲載したカレンダー（2,800枚）を作成し、県、市町村、県警及び県下の学校等関係機関へ配布した。

3) 講師の派遣

教育機関、一般企業等で開催された禁煙に関する研修等に、医師を講師として派遣し禁煙の啓発に努めた。

4) 教材等の貸出

たばこの害についてのチラシの配布や、スモーカーライザーを貸し出し、教育機関や一般企業独自の啓発活動を支援した。

5) 募金

禁煙普及啓発を推進するために、当協議会に358件521,000円の募金を頂いた。

(5) 「健康おかやま21」への参加

生活習慣病改善による健康づくりの推進を目的としており、またメタボリックシンドロームに注目があてられている中、生活習慣病予防の普及に努めた。

(6) 助成事業

1) がん助成

がんに関する研究・研修事業に対して対がん基金による助成を行った。

- ・免疫寛容破綻を作用機序とする革新的抗がん剤候補の創製

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科有機医薬品開発学分野

准教授 松野 研司 氏

- ・食道がん由来エクソソームの前転移ニッチ形成における役割に関する研究

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科分子遺伝学分野

助教 伊藤 佐智夫 氏

2) 健康づくり関係団体への助成

県民の健康づくりを推進している、岡山県愛育委員連合会、岡山県栄養改善協議会等の関係団体に助成を行った。

(7) 会議等の開催

区分	開催 年月日	会場	議題
会計監査	H26. 5. 21	岡山県南部健康づくりセンター 小会議室	1. 平成25年度決算について
会計・業務監査	H26. 5. 28	岡山県南部健康づくりセンター 研修室2	1. 平成25年度事業実績について 2. 平成25年度決算について
第1回理事会	H26. 6. 12	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成25年度各事業実施及び収支決算 について
定時評議員会	H26. 6. 26	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成25年度各事業実施及び収支決算 について 2. 評議員の選任について 3. 理事の選任について
第2回理事会	H27. 3. 27	岡山県南部健康づくりセンター 大会議室	1. 平成26年度各事業計画及び収支予算案 について
みなし決議	H26. 4. 1	—	1. 理事の選任について
みなし決議	H26. 5. 16	—	1. 土地の交換について

事業年報 平成 26 年度

発行 公益財団法人 岡山県健康づくり財団
〒700-0952 岡山市北区平田 408-1
TEL 086-246-6254 FAX 086-246-6258
E-mail : zaidan@okakenko.jp